

モデル108076-1



取扱説明書

## 導入

3	あなたの前に進む
4	安全性 予防
7	ツール、部品、そして必須装置
8	解剖学 ミニXRT
9	クイックスタート: 起きる速度を上げる
10	トラクサスTQ 2.4GHz無線システム
19	調整 電子速度コントロール
21	運転する モデル
23	基本的なチューニング 調整
24	維持 あなたのモデル
26	高度なチューニング 調整
28	TQiアドバンス チューニングガイド

Traxxas Mini XRT®をご購入いただきありがとうございます。Mini XRTは、レースにインスパイアされたデザインとフルサイズXRT®の比類なき堅牢性を融合し、どこにでも持ち運べるサイズを実現しました。Mini XRTは、3秒でVelineon®ブラシレスモーターのパワーをフルに活用し、前例のない時速55マイル（約80km/h）以上のスピードと驚異的な加速性能を実現します。これほどコンパクトな設計で、これほどのパワーとパフォーマンスを実現したのはかつてありませんでした。

新しいモデルを走らせるのが待ち遠しい気持ちはよく分かりますが、このオーナーズマニュアルをよく読んでいただくことが非常に重要です。このマニュアルには、モデルの操作とメンテナンスに必要な手順が記載されており、末永く楽しんでいただけます。また、Traxxasのエンジニアがモデルに設計したパフォーマンスとポテンシャルを最大限に引き出すために必要なセットアップと操作手順もすべて記載されています。

経験豊富な R/C 愛好家であっても、このマニュアルの手順を読んで従うことが重要です。

Traxxasをお選びいただき、改めて感謝申し上げます。お客様に最高の満足をお届けできるよう、日々努力を重ねております。新しいモデルをぜひお楽しみください！

## FCC準拠

本装置は、FCC規則パート15に記載されているクラスBデジタル機器の制限に準拠したモジュールを内蔵しています。動作には以下の2つの条件が適用されます：(1) 本装置は有害な干渉を引き起こしてはなりません。(2) 本装置は、望ましくない動作を引き起こす可能性のある干渉を含め、受信したあらゆる干渉を受け入れなければなりません。

クラスBデジタル機器の制限は、住宅環境における有害な干渉に対する適切な保護を提供するために策定されています。本製品は無線周波数エネルギーを生成、使用し、放射する可能性があります。取扱説明書に従わずに操作した場合、無線通信に有害な干渉を引き起こす可能性があります。適合責任者の明示的な承認を得ずに機器を変更または改造した場合、ユーザーの機器操作権限が無効になる可能性があることにご注意ください。

## カナダ、カナダ産業省 (IC)

このクラスBデジタル機器は、カナダのICES-003およびRSS-210に準拠しています。本機器は、カナダ産業省の免許免除RSS規格に準拠しています。本機器の動作には、以下の2つの条件が適用されます。本機器は干渉を引き起こしてはなりません。また、本機器は、望ましくない動作を引き起こす可能性のある干渉を含む、あらゆる干渉を受け入れなければなりません。

## 無線周波数 (RF) 曝露に関する声明

本機器は、FCCおよびカナダ産業省が定める、制御されていない環境における無線周波数曝露制限に準拠しています。本機器は、放射体と使用者または周囲の人との間の距離を20cm以上離して設置および操作する必要があります。また、他のアンテナまたは送信機と同一の場所に設置したり、連動させて使用したりしないでください。

動作周波数: 2406-2453 MHz  
最大無線周波数電力: 最大ピーク電力 -1 dBm

## Traxxas サポート

Traxxasのサポートは、あらゆる段階でお客様をサポートします。お問い合わせ方法とサポートオプションについては、次のページをご覧ください。



## クイックスタート

このマニュアルは、モデルを最短時間で立ち上げて走らせるために必要な手順を概説したクイックスタートパスを採用しています。経験豊富なRC愛好家であれば、すぐに役立つでしょう。



安全、メンテナンス、調整に関する重要な手順についてご理解いただくために、取扱説明書の残りの部分を必ずお読みください。まずは9ページをご覧ください。

## モデルの登録

お客様により良いサービスを提供するために、ご購入後 10 日以内に [Traxxas.com/register](https://www.traxxas.com/register) で製品をオンライン登録してください。

[Traxxas.com](https://www.traxxas.com/register) / [登録](#)

## 続行する前に

モデルに重大な損傷が生じないよう、本書および付属資料に記載されているすべての指示をよくお読みになり、従ってください。指示に従わない場合は、乱用または怠慢とみなされます。

模型を動作させる前に、このマニュアル全体をよく読んで、模型をよく確認してください。もし何らかの理由で、期待していたものと違うと感じた場合は、それ以上作業を進めないでください。ホビーディーラーは、動作させた模型の返品・交換は一切受け付けません。

### 警告、役立つヒント、相互参照

このマニュアル全体を通して、以下のアイコンで識別される警告と役立つヒントが記載されています。必ずお読みください。



個人の安全または回避に関する重要な警告  
モデルおよび関連コンポーネントが損傷する可能性があります。



物事をもっと簡単に、もっと楽しくするための Traxxas からの特別なアドバイス。



関連するトピックのページを参照します。

### サポート

モデルやその操作についてご質問がある場合は、Traxxas テクニカル サポート ラインのフリーダイヤルまでお電話ください。  
1-888-トラクサス (1-888-872-9927)\*

テクニカルサポートは、週7日午前8時30分から午後9時（中部標準時）までご利用いただけます。Traxxas.comでもテクニカルサポートをご利用いただけます。ご質問は

support@Traxxas.comまでメールでお送りいただくことも可能です。Traxxas.comのオンラインコミュニティには、数千人の登録メンバーが参加していますので、ぜひご参加ください。

Traxxasは、お客様のあらゆるTraxxasサービスニーズに対応するフルサービスのオンサイト修理施設を提供しています。メンテナンスおよび交換部品は、Traxxasに直接お電話いただくか、Traxxas.comからオンラインでご購入いただけます。お近くの販売店から交換部品をご購入いただくことで、時間と送料・手数料を節約できます。

製品サポートに関するご要望がございましたら、お気軽にお問い合わせください。新しいモデルにご満足いただけることを願っています。

### トラクサス

6250 トラクサス ウェイ  
マッキーニー、テキサス州 75070  
電話番号: 972-549-3000  
フリーダイヤル 1-888-TRAXXAS

インターネット

Traxxas.com

Eメール: support@Traxxas.com

全内容©2025 Traxxas.

Traxxas, Ready-To-Race, Ready-To-Win, XRT, Mini XRT, Velineon, および ProGraphixは、Traxxasの商標または登録商標です。その他のブランド名およびマークはそれぞれの所有者の財産であり、識別目的のみに使用されています。本マニュアルのいかなる部分も、Traxxasの書面による明示的な許可なしに、印刷媒体または電子媒体で複製または配布することはできません。仕様は予告なく変更される場合があります。

\*フリーダイヤルサポートは米国居住者のみご利用いただけます。

## 安全上の注意



このマニュアルに記載されているすべての指示と注意事項は、

安全を確保するためにモデルの操作。



このモデルは、責任感と知識のある大人の監督なしに 18 歳未満の子供が使用することを想定していません。



ラジコンの経験がない

モデルは必須です。  
モデルには最小限のセットアップ、メンテナンス、またはサポート機器が必要です。

Traxxasのスタッフ一同、お客様に新しいモデルを安全に楽しんでいただきたいと考えています。モデルを賢明かつ慎重に操作することで、お客様自身だけでなく、周りの方にとっても、刺激的で安全、そして楽しい体験となるでしょう。安全かつ責任ある方法でモデルを操作しないと、物的損害や重傷につながる可能性があります。安全な操作を保証するために、本製品に付属または入手可能な注意事項と説明書を厳守してください。説明書の遵守と注意事項の遵守は、お客様ご自身で責任を持って行ってください。

## 覚えておくべき重要なポイント

- このモデルは、歩行者や車両の交通と衝突したり、妨げたりする可能性のある公道や混雑したエリアでの使用を想定していません。
- いかなる状況でも、人混みの中で模型を操作しないでください。  
あなたのモデルは非常に速く、衝突すると怪我をする可能性があります  
誰でも。
- 模型は無線操縦のため、操縦者の制御が及ばない様々な電波干渉の影響を受けます。電波干渉により一時的に操縦不能となる場合があるため、衝突を防ぐため、模型の周囲全方向に安全マージンを確保してください。
- モーター、バッテリー、スピードコントローラーは使用中に熱くなることがあります。火傷をしないようご注意ください。夜間や、視界が遮られたり、視界が悪くなる可能性のある時間帯には、模型を操作しないでください。
- 最も重要なことは、常に良識を働かせることです。

## スピードコントロール

お使いのモデルの電子スピードコントロール（ESC）は、高電流を供給できる非常に強力な電子機器です。スピードコントロールやその他の部品の損傷を防ぐため、以下の注意事項を厳守してください。

- バッテリーの取り外し: 使用していないときは、必ずスピードコントロールからバッテリーを外してください。• 配線の絶縁: 露出した配線は必ず熱収縮チューブで絶縁し、ショートを防いでください。
- 最初に送信機をオンにします: 暴走や不安定なパフォーマンスを防ぐため、速度制御をオンにする前に、まず送信機をオンにします。
- 火傷に注意: ESCとモーターは使用中に非常に熱くなることがあります。冷めるまで触れないように注意してください。十分な空気の流れを確保して冷却してください。
- 工場出荷時に取り付けられたコネクタを使用してください。バッテリーとモーターのコネクタは変更しないでください。不適切な配線は、火災やESCの損傷につながる可能性があります。改造されたスピードコントロールは、修理に出す際に再配線費用が発生する場合がありますのでご注意ください。
- 逆電圧なし: ESCは逆極性電圧に対する保護機能がありません。• ショットキーダイオードなし: 外付けショットキーダイオードは、逆極性スピードコントロールには対応していません。Traxxasスピードコントロールにショットキーダイオードを使用すると、ESCが損傷し、30日間の保証が無効になります。
- オーナーズマニュアルの仕様表に記載されている速度制御の最小および最大制限を常に遵守してください。

**火災の危険!****警告! 注意! 危険!**

このモデルにはリチウムポリマー (LiPo) バ

ッテリーが搭載されています。バッテリーの充電および放電は、指示に従わなかった場合、火災、爆発、重傷、および物的損害を引き起こす可能性があります。さらに、LiPoバッテリーは、指示に従わずに適切に取り扱わないと、深刻な火災の危険性を伴い、長寿命で安全な動作のためには特別な注意と取り扱いが必要です。LiPoバッテリーは、LiPoバッテリーの使用に伴うリスクについて十分な知識を持つ上級ユーザーのみを対象としています。Traxxasは、18歳未満の方が、知識と責任のある成人の監督なしにLiPoバッテリーパックを使用または取り扱うことを推奨しません。使用済みのバッテリーは、指示に従って廃棄してください。

• お使いのモデルにはLiPoバッテリーが搭載されています。LiPoバッテリーには、超えてはならない最低安全放電電圧閾値があります。電子速度制御には低電圧検出機能が内蔵されており、LiPoバッテリーの電圧が下がった場合にドライバーに警告を發します。

最低電圧 (放電) しきい値を超えています。バッテリーパックが安全な最低しきい値を下回るまで放電しないように、直ちに停止するのは運転者の責任です。

• 低電圧検出は、LiPoバッテリーを安全に使用するための包括的な計画の一部にすぎません。LiPoバッテリーを安全かつ適切に充電、使用、保管するためのすべての指示に従うことが不可欠です。LiPoバッテリーの使用方法をよく理解してください。LiPoバッテリーの使用についてご不明な点がございましたら、お近くのホビー用品販売店またはバッテリーメーカーにお問い合わせください。なお、すべてのバッテリーは、使用期限が切れたらリサイクルする必要があります。

• 付属のTraxxas iDバッテリーの充電には、Traxxas iD® LiPoバランス充電器のみを使用してください。LiPoバッテリーの充電には、NiMHまたはNiCadタイプの充電器や充電モードを使用しないでください。NiMH専用の充電器でLiPoバッテリーを充電しないでください。NiMHまたはNiCad充電器や充電モードを使用すると、LiPoバッテリーが損傷し、火災、人身傷害、および/または物的損害を引き起こす可能性があります。• LiPoバッテリーパックを直列または並列で充電しないでください。パックを直列または並列で充電すると、充電器のセル

の認識が正しく行われず、充電速度が不適切になり、過充電、セルの不均衡、セルの損傷、および火災につながる可能性があります。充電する前に、必ずLiPoバッテリーを注意深く点検してください。

緩んだリード線やコネクタ、損傷した電線絶縁体、損傷したセルパッケージ、衝撃による損傷、液漏れなどがないか確認してください。

腫れ (内部損傷の兆候)、細胞の変形、ラベルの欠落、またはその他の損傷や異常。

これらの状態が見られる場合は、バッテリーパックを充電または使用しないでください。バッテリーに付属の廃棄手順に従って、バッテリーを適切かつ安全に廃棄してください。• LiPoバッテリーを、他のLiPoバッテリーを含むあらゆる種類のバッテリーやバッテリーパックと一緒に、または近くに保管したり、充電したりしないでください。

• バッテリーパックは涼しく乾燥した場所に保管および運搬してください。直射日光の当たる場所に保管しないでください。車のトランクなど、保管温度が60°Cを超える場所に保管しないでください。セルが損傷し、火災の危険が生じる可能性があります。• LiPoバッテリーまたはセルを分解しないでください。

• LiPoバッテリーパックをバラの部品から自作しないでください。細胞。

• 充電する前に、必ず充電器の設定を確認してください。充電するバッテリーの種類 (化学組成)、仕様、構成と完全に一致してください。

メーカーが推奨する最大充電速度。• 内部充電回路または保護回路のあるバッテリー、メーカーのオリジナル構成から変更されたバッテリー、またはラベルが欠落しているか半読できないためバッテリーの種類と仕様を正しく識別できないバッテリーは充電しないでください。• 必ず Traxxas iD 充電器を使用して Traxxas iD バッテリーを充電してください。• 露出したバッテリーの接点やワイヤーを互いに接触させないでください。

これにより、バッテリーがショートし、火災が発生する危険が生じます。

• 充電中または放電中は、バッテリー (すべての種類のバッテリー) を難燃性/耐火性の容器に入れ、コンクリートなどの不燃性の面に置いてください。

• 車内でバッテリーを充電しないでください。また、運転中はバッテリーを充電しないでください。

• 木材、布、カーペット、その他の可燃性素材の上でバッテリーを充電しないでください。

• バッテリーは必ず換気の良い場所で充電してください。

• 可燃物や可燃性物質を車内から取り除いてください。

充電エリア。

• 充電中、放電中、またはバッテリーを接続した状態で充電器の電源が入っている間は、充電器とバッテリーから目を離さないでください。故障の兆候が見られる場合、または緊急の場合は、充電器を電源から抜き、バッテリーを充電器から取り外してください。



## (前のページからの続き)

- 雑然とした場所で充電器を操作したり、充電器やバッテリーの上に物を置いたりしないでください。
- バッテリーまたはバッテリーセルが何らかの損傷を受けている場合は、バッテリーを充電、放電、または使用しないでください。
- 火災に備えてクラス D 消火器を近くに置いてください。
- 電池を分解、粉碎、ショートさせたり、炎やその他の発火源にさらしたりしないでください。有毒物質が放出される可能性があります。目や皮膚に付着した場合は、水で洗い流してください。
- 充電中にバッテリーが触れるほど熱くなった場合（温度が 110°F / 43°C 以上）、すぐにバッテリーを充電器から取り外し、充電を中止してください。
- 実行の合間に（充電する前に）バッテリー パックを冷ましてください。
- 使用しないときは必ず充電器とバッテリーを外してください。使用中。
- モデルを使用していないときや保管または輸送しているときは、必ず電子スピードコントロールからバッテリーを取り外してください。
- 充電器を分解しないでください。
- 充電する前に、モデルまたはデバイスからバッテリーを取り外してください。
- 充電器を水や湿気にさらさないでください。屋内でのみご使用ください。
- いかなる種類のアダプタも使用しないでください。また、バッテリーのプラグ/コネクタを改造したり変更したりしないでください。
- バッテリーパックは、必ずお子様やペットの手の届かない安全な場所に保管してください。お子様がバッテリーを充電したり取り扱ったりする際には、必ず大人の監督下で行ってください。
- 常に注意して、常識を持って行動してください。

## ツール、備品、必要な機器

このモデルには、特殊なメートル法の工具一式が付属しています。モデルの操作とメンテナンスには、ホビーショップで別途ご購入いただく必要があります。

### 提供されるツールと機器



2.5mm 「L」レンチ



2.0mm 「L」レンチ



1.5mm 「L」レンチ



4ウェイレンチ



プリロードスペーサー  
とショックピストン



3500mAh 7.4V 2セル iD<sup>®</sup>  
LiPoバッテリー\*



iD<sup>®</sup> LiPoバランス充電器 (2セル  
iD<sup>®</sup> LiPoのみ)\*

### 必要な装備 (別売)



単3アルカリ電池4本  
電池



USB-C電源アダプターとケーブル  
(詳細は13ページをご覧ください)



電池の詳細については、13 ページ  
の「適切な電池の使用」を参照してく  
ださい。



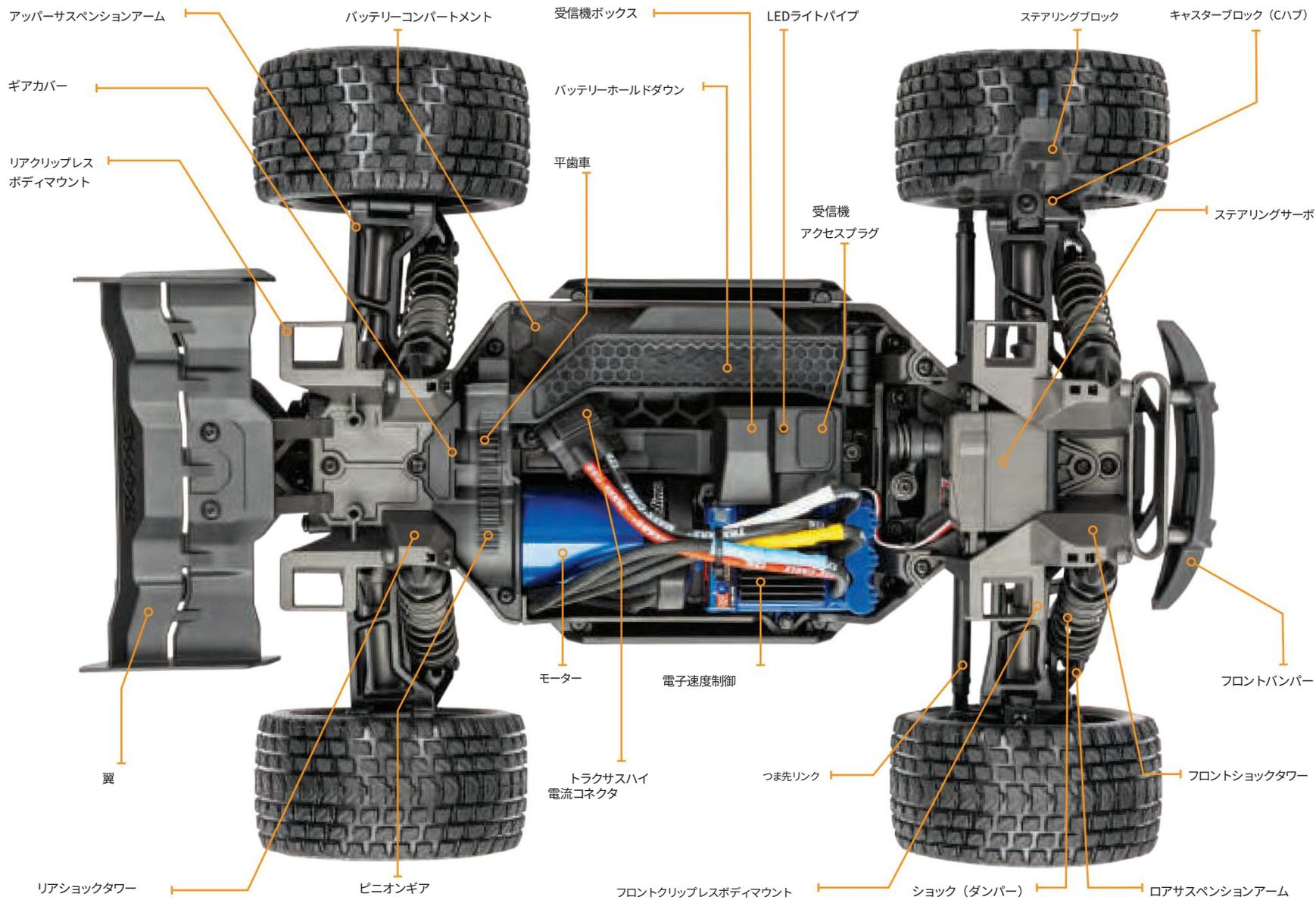
### 推奨機器

これらのアイテムはモデルの操作に必  
須ではありませんが、RC ツールボ  
ックスに含めることをお勧めします。

- 安全メガネ
- Traxxas ウルトラプレミアムタイヤ  
接着剤、部品番号6468 (CA接着剤)
- ホビーナイフ
- サイドカッターおよび/またはニードル  
ノーズプライヤー

\*バッテリーと充電器のスタイルは変更される場合があります、画像と異なる場合があります。

# MINI XRTの構造



## クイックスタート :スピードアップ

 以下のガイドは、モデルを実行するための手順の概要です。クイックスタートページの下隅にあるクイックスタートロゴをご確認ください。

1. 4～6 ページの安全に関する注意事項をお読みください。

安全のため、不注意や誤用により人身事故が発生する可能性があることを理解してください。

6. サーボの動作を確認する・17ページを参照

ステアリングサーボが正しく動作していることを確認してください。

2. 送信機に電池を入れます。13ページを参照してください。

送信機には単3アルカリ電池または充電式電池が4本必要です（別売）。

7. 無線システムの範囲テスト・17ページを参照

この手順に従って、無線システムが離れた場所でも正常に動作し、外部からの干渉がないことを確認します。

3. バッテリーパックを充電する・13ページを参照してください。

他のセットアップ手順を完了するときに準備ができるように、今すぐバッテリーを充電してください。

8. モデルを運転する・21ページを参照

あなたのモデルの運転のヒントと調整。

4. バッテリーパックをモデルに取り付けます。15ページを参照してください。

付属のバッテリーパックをモデルに取り付けます。

9. モデルのメンテナンス・24ページを参照

モデルのパフォーマンスを維持し、優れた動作状態を保つには、次の重要な手順に従ってください。

5. ラジオシステムをオンにする・16ページを参照

送信機を最初にオンにして最後にオフにする習慣をつけましょう。



クイック スタート ガイドは、このマニュアルに記載されている完全な操作手順に代わるものではありません。モデルの適切な使用とメンテナンスに関する詳細な手順については、このマニュアル全体をお読みください。

クイック スタート ページの下部にあるクイック スタート ロゴを探します。



## TRAXXAS TQiラジオ &amp; VELINEON パワー システム

**導入**

このモデルには、最新の Traxxas TQi 2.4GHz 送信機と Traxxas Link™モデル メモリが搭載されています。送信機の使いやすい設計により、R/C 初心者はすぐに運転を楽しむだけでなく、上級ユーザーやモデルの性能を試してみたい方にはプロ仕様のチューニング機能も完備しています。ステアリングとスロットル チャンネルには、調整可能なエクスポネンシャル、エンドポイント、サブトリムが搭載されています。ステアリングとブレーキのデュアル レートも利用できます。次のレベルの機能の多くは、さまざまな機能を制御するようにプログラムできるマルチ ファンクション ノブで制御されます。このマニュアルに含まれる詳細な手順 (28 ページ) とメニュー ツリー (31 ページ) は、新しい TQi 無線システムの高度な機能を理解し、操作するのに役立ちます。追加情報とハウツー ビデオについては、Traxxas.com をご覧ください。

**無線および電力システムの用語**

無線と電源システムに関するこれらの用語をよく理解しておいてください。これらの用語は、このマニュアル全体で使用されます。新しい無線システムの高度な用語と機能の詳細な説明は 28 ページから始まります。

**2.4GHzスペクトラム拡散- このモデルには最新の**

R/Cテクノロジー。AMやFMシステムでは周波数クリスタルが必要で周波数の衝突が発生しやすいのに対し、TQiシステムは空いている周波数を自動的に選択してロックし、干渉や「グリッチ」に対する優れた耐性を備えています。

**BEC (バッテリーエリミネーター回路) -** BECは、受信機またはESCに内蔵されています。この回路により、受信機とサーボは電気モデルでは、メインバッテリーパックから電源を供給します。これにより、無線機器の電源として単三電池4本を別途持ち運ぶ必要がなくなります。

**ブラシレスモーター- AD/Cブラシレスモーターは、**ブラシ付きモーターの従来の整流子とブラシの配置を、電磁巻線に順番に通電して回転を生み出すインテリジェントな電子回路に置き換えたものです。ブラシ付きモーターとは異なり、ブラシレスモーターでは巻線 (コイル)がモーター缶の外周に配置され、磁石は回転するローターシャフトに取り付けられています。

**コギング-** コギングはブラシレスモーターに時々見られる現象です。典型的には、停止状態から加速する際に感じられるわずかなスタッターです。これは、電子速度制御とモーターからの信号が互いに同期する際に、ごく短時間発生します。VXL-3sの電子速度制御は、コギングをほぼ排除するように最適化されています。

**電流-** 電流は、電流を流れる電力の尺度です。

電子機器の電流は通常アンペアで測定されます。電線を庭のホースと考えると、電流はホースを流れる水の量を表します。

**ESC (電子速度制御) -** 電子速度制御は、模型に内蔵された電子モーター制御です。VXL-3の電子速度制御は、

スピードコントロールは、高度な回路を用いて、高精度なデジタル比例スロットル制御を実現します。電子式スピードコントロールは、機械式スピードコントロールよりも電力を効率的に使用するため、バッテリーの寿命が長くなります。また、電子式スピードコントロールには、バッテリーの電力が減ってもステアリングとスロットルの制御が失われないようにする回路も備わっています。

**周波数帯域-** 送信機がモデルに信号を送信するために使用する無線周波数。このモデルは2.4GHzの直接拡散スペクトラム拡散方式で動作します。

**kV 定格-** ブラシレス モーターは、多くの場合、kV 数によって定格されます。

kV 定格は、1ボルトを印加した際の無負荷時のモーター回転数に相当します。モーターの巻線数が減少するにつれて、kVは増加します。

kVが増加すると、電子機器を流れる電流も増加します。Velineon 3500モーターは3500kVモーターです。

軽量 1/10 スケールのモデルで最高の速度と効率を得られるように最適化されています。

**LiPo -** リチウムポリマーの略称。充電式LiPoバッテリーパックは、その特殊な化学的性質により、コンパクトなサイズでありながら極めて高いエネルギー密度と電流処理能力を実現していることで知られています。高性能バッテリーであるため、特別な注意と取り扱いが必要です。LiPoバッテリーパックは上級ユーザー向けです。

**mAh -** ミリアンペアアワーの略称。バッテリーパックの容量を表す単位です。数値が高いほど、充電間隔が長くなります。

**ニュートラル位置-** 送信機のコントロールがニュートラル設定のときにサーボが目指す直立位置。

**NiCad -** ニッケルカドミウムの略称。充電式ホビーバッテリーの元祖とも言えるNiCad電池は、非常に高い電流容量と高い充電能力を誇り、最大1000回の充電サイクルに耐えます。「メモリー効果」の発生や動作時間の短縮を防ぐには、適切な充電手順を守ることが重要です。

**NiMH - ニッケル水素電池の略称。**充電式NiMHバッテリーは、高電流処理能力と「メモリ」効果に対する優れた耐性を備えています。NiMHバッテリーは、一般的にニカド電池よりも高い容量を誇ります。最大500回の充電サイクルが可能です。最適な性能を得るには、NiMHバッテリー専用のピークチャージャーが必要です。

**受信機 - 送信機からの信号を受信してサーボに中継するモデル内部の無線ユニット。**

**抵抗 - 電気的な意味では、抵抗は物体が電流の流れにどの程度抵抗するか、または妨げるかを示す尺度です。**

流れが制限されると、エネルギーは熱に変換され、失われます。

Velineon 電源システムは、電気抵抗と、その結果発生する電力を奪う熱を減らすように最適化されています。

**ローター - ローターはブラシレスモーターの主軸です。**

ブラシレスモーターでは、磁石がローターに取り付けられ、電磁巻線がモーターハウジングに組み込まれています。

**センサー付き - センサー付きとは、モーター内部のセンサーを使用してローターと通信するブラシレスモーターの一種を指します。**

位置情報を電子速度制御装置に返します。VXL-3s電子速度制御装置は、センサー付きモーターが有効なアプリケーション（一部の公認レースクラスなど）での使用が可能です。

**センサレス - センサレスとは、ブラシレスモーターのことです。**

電子速度制御からの高度な指示により、スムーズな動作を実現します。追加のモーターセンサーや配線は不要です。VXL-3s電子速度制御は、スムーズなセンサレス制御に最適化されています。

**サーボ - ステアリングを操作するモデル内の小型モーターユニット機構。**

**はんだ付けタブ - モーターの外部接点にアクセスしやすく、配線の交換が容易です。**

Velineon 3500にははんだ付けタブが装備されています。

**送信機 - スロットルと**

モデルへのステアリング指示。

**トリム - 送信機前面のスロットルとステアリングのトリムノブを調整することで、サーボのニュートラル位置を微調整します。注：マルチファンクションノブは**

スロットルトリム調整として機能するようにプログラムする必要があります。

**サーマルシャットダウン保護 - VXL-3s電子速度制御に使用されている温度センサーは、トランジスタ回路の過負荷と過熱を検出します。過度の温度が検出されると、ユニットは自動的にシャットダウンし、電子機器の損傷を防ぎます。**

**2チャンネルラジオシステム - TQiラジオシステムは、**

受信機、送信機、サーボで構成されています。このシステムは2つのチャンネルを使用します。1つはスロットル操作、もう1つはステアリング操作です。

**電圧 - 電圧は電位差の尺度である**

バッテリーのプラス端子とアース端子の間など、2点間の電圧です。庭のホースに例えると、電流はホースを流れる水の量であり、電圧はホースを通して水を押し出す圧力に相当します。

#### 重要な無線システムの注意事項

- 受信機のアンテナ線をねじらないでください。アンテナ線のねじれは範囲が狭くなります。
- 受信機のアンテナ線を切断しないでください。アンテナを切断すると受信範囲が狭くなります。
- 最大範囲を確保するには、モデル内のアンテナ線を可能な限り延長してください。アンテナ線を本体から延長する必要はありませんが、アンテナ線を巻き付けたり、コイル状に巻いたりすることは避けてください。
- アンテナ線をアンテナチューブで保護せずに体外に出さないでください。アンテナ線が切れたり損傷したりして、通信距離が短くなる場合があります。損傷を防ぐため、アンテナ線は体の内部（アンテナチューブ内）に収納することをお勧めします。



無線範囲の損失を防ぐため、黒色のワイヤーを曲げたり切断したりしないでください。また、金属の先端を曲げたり切断したりしないでください。さらに、金属の先端の端にある白いワイヤーを曲げたり切断したりしないでください。



正解 いいえ いいえ いいえ

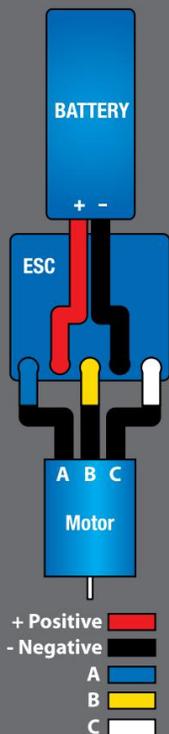


## Velineon 3500の仕様

タイプ: センサレスブラシレス  
回転数/ボルト: 3500 (10回転)  
磁石の種類: 超高温焼結ネオジム

接続タイプ: 3.5mm弾  
ワイヤーサイズ: 12ゲージ  
最高回転数: 50,000  
直径: 36mm (1.42インチ) (540サイズ)  
長さ: 55mm (2.165インチ)  
重量: 262g (9.24オンス)

## ESC/モーター配線図



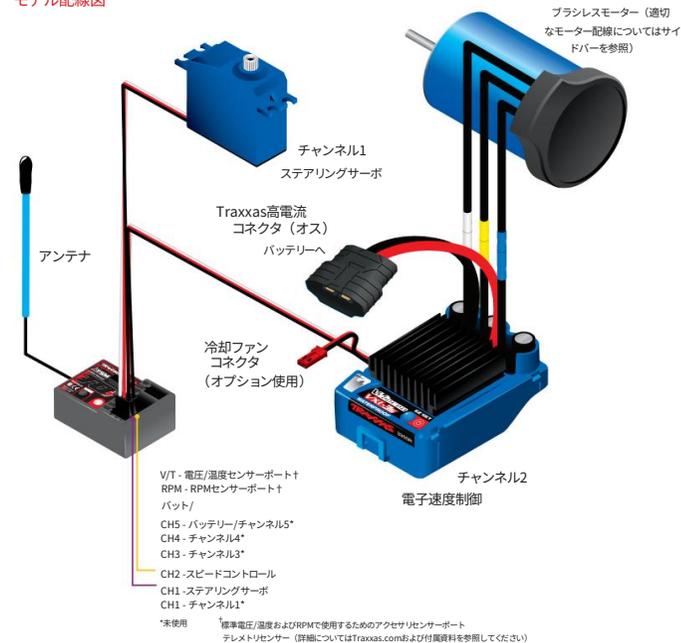
このモデルには、Traxxas Link™ モデルメモリを搭載した最新のTQi 2.4GHz 送信機が搭載されています。送信機にはスロットルとステアリングを制御するための2つのチャンネルがあります。モデルに内蔵された受信機には5つの出力チャンネルがあります。このモデルにはサーボ1個と電子スピードコントローラーが搭載されています。

## 送信機と受信機

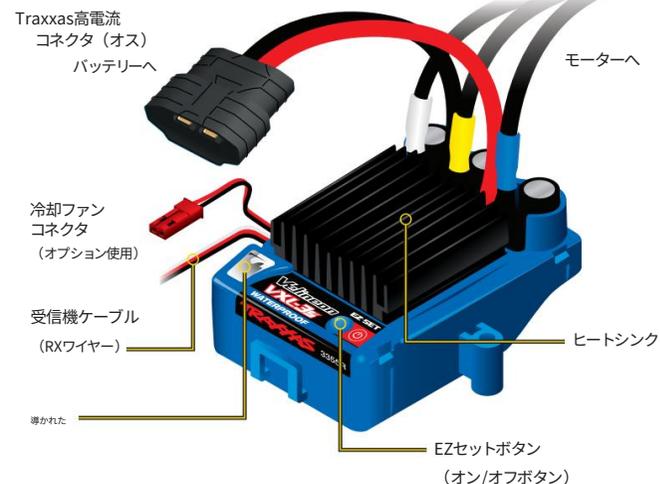


\*\* テレメトリ拡張モジュールで使用するためのアクセサリセンサー拡張ポート (詳細については、Traxxas.com および付属の資料を参照してください)

## モデル配線図



## VXL-3s 電子スピードコントロール



## 送信機の電池の取り付け

TQ送信機は単3電池4本を使用します。電池ボックスは送信機の底面にあります。



1. タブを押してドアをスライドさせて開き、電池室のドアを取り外します。

2. 電池を正しい向きで取り付けます。

電池ボックス。

3. バッテリー ドアを元に戻し、カチッと閉めます。

4. 送信機をオンにして、ステータス インジケータが緑色に点灯していることを確認します。

ステータスLEDが赤く点滅する場合は、送信機の電池が弱っているか、放電しているか、正しく取り付けられていない可能性があります。新しい電池に交換してください。

電源インジケータライトは、モデルに装着されているバッテリーパックの充電レベルを示しません。送信機のステータスLEDコードの詳細については、31ページのトラブルシューティングセクションを参照してください。



## バッテリーパックの充電



## 警告: 火災の危険!

付属のバッテリー充電器は、Traxxas iD® 2セルLiPo (2s)バッテリー専用です。旧型のTraxxas高電流コネクタはこの充電器と互換性がありません。旧型のコネクタを充電コネクタに無理やり差し込まないでください。

この充電器で NiMH バッテリーを充電しないでください。充電器とバッテリーの間にはいかなる種類のアダプターも使用しないでください。充電器またはバッテリーコネクタを改造しないでください。

ニッケル金属は使用しないでください

このモデルには水素化物 (NiMH)電池が付属しています。電池が非常に高温になり、損傷や怪我をする可能性があります。

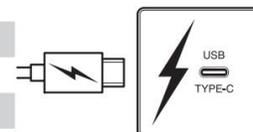


推奨電源アダプタと電源ケーブル

## 部品番号説明

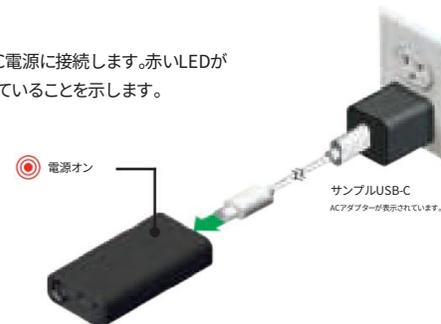
2912\* 電源アダプター、AC、USB-C (45W)

2916\* 電源ケーブル、USB-C、100W (高出力)

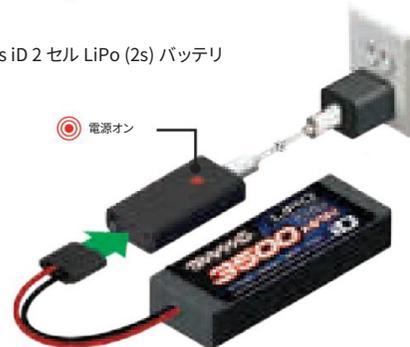


\*別売

USB-CケーブルをUSB-C電源に接続します。赤いLEDが点灯し、電源が接続されていることを示します。



充電を開始するには、Traxxas iD 2 セル LiPo (2s) バッテリーを充電器に接続します。



ステータスLEDが緑色に点灯しない場合は、電池の極性を確認してください。LEDに他の点滅信号が表示された場合は、31ページの表を参照してコードを確認してください。



適切な電池を使用する送信機は単3電池を使用します。新しいアルカリ電池をご使用ください。充電式の単3電池はTQ送信機の電源として使用しないでください。十分な電圧が得られず、送信機の最適なパフォーマンスが得られません。

注意: 制御不能にならないように、電池が弱っている兆候 (赤いライトが点滅)が現れたらすぐにモデルの実行を中止してください。



**バッテリーID**  
Traxxas推奨のバッテリーパックには、Traxxas Battery IDが搭載されています。この独自の機能により、Traxxasバッテリーチャージャー（別売）は接続されたバッテリーパックを自動的に認識し、バッテリーに最適な充電設定を行います。これにより、チャージャーの設定やメニュー操作を気にする必要がなくなり、最も簡単かつ安全な充電ソリューションを実現できます。

この機能と利用可能な Traxxas iD 充電器およびバッテリーの詳細については、Traxxas.com をご覧ください。



#### チャージ進捗状況

1個	緑色のフラッシュ1回、	0 - 25% 充電済み
2倍	緑色のフラッシュ2回	25% - 50% 請求
3倍	3回の緑色の点滅	50% - 75% 充電済み
4倍	4回の緑色の点滅	75%以上充電
●	緑色のLEDが点灯	100%充電済み



#### LED表示

LED表示	意味
● 赤色LED点灯	充電準備完了
✳️ ゆっくり点滅する緑色のLED	充電中（充電進捗状況チャートを参照）
● 緑色のLEDが点灯	バッテリーが完全に充電されました
✳️ 赤色LEDの点滅	充電器エラー

#### エラーのクリア

バッテリーまたは電源アダプターに問題がある場合、充電器のLEDが赤く点滅します。エラーコードと推奨される解決策については、以下をご覧ください。エラーコードが繰り返し表示される場合、または消えない場合は、Traxxasカスタマーサポートにお問い合わせください。

LED表示	意味	解決
✳️ 1個	電源エラー	バッテリーとUSB-C電源を外します。電源の互換性を確認してください。
✳️ 2倍	バッテリー電圧が高すぎるか低すぎる	バッテリーを外して使用を中止してください。
✳️ 3倍	充電器のタイマーが切れました	バッテリーを外してください。バッテリーが熱くなっている場合は、充電器の使用を中止してください。バッテリーが熱くない場合は、再度接続して充電を続行してください（出力の低い電源に接続している場合、この状態になることがあります）。
✳️ 4倍	充電器内部の温度が高すぎます	充電器を外して充電器を許可する冷やす。
✳️ 5倍	検出されたバッテリーは充電器の設定と一致しません	バッテリーを外してください。バッテリーは充電器と互換性がありません。
✳️ 6個	USB-C電源供給前にバッテリーを充電器に接続	バッテリーを外し、充電器の赤色LEDが点灯するまで待つからバッテリーを再接続します。
✳️ ↔️ ●	充電器が内部エラーを検出しました	バッテリーと電源アダプターを外します。充電器の使用を中止してください。

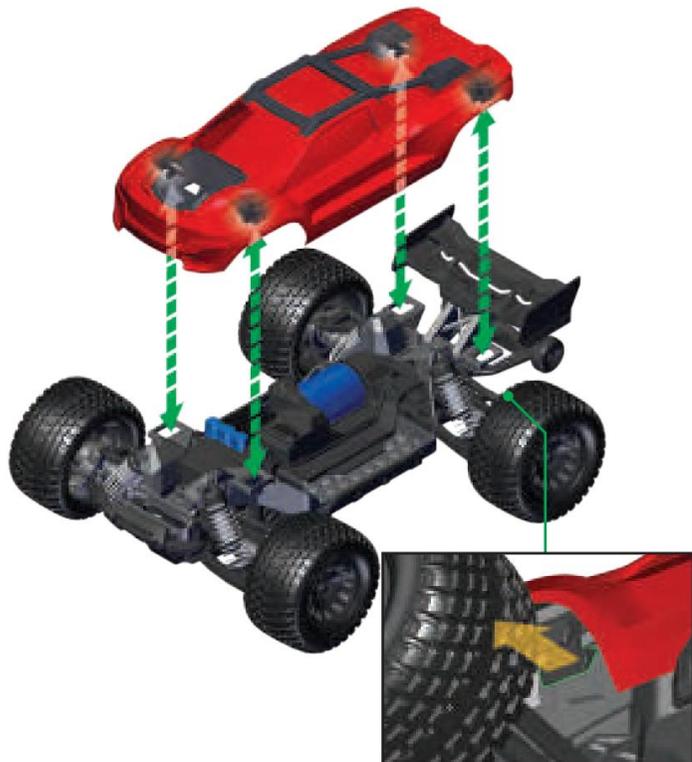
#### 充電のヒント

- バッテリーを接続する前に、充電器をUSB-C電源に接続してください。USB-C電源に接続する前にバッテリーを接続すると、充電器にエラーが表示されます（赤色LEDが6回点滅し、これを繰り返します）。このエラーを修正するには、バッテリーと充電器を取り外してください。充電器をUSB-C電源に接続し、充電するバッテリーを接続してください。
- 充電器が動作するには、USB-C ソースからの 10W 以上の出力が必要です。
- 充電出力電流は、USB-C電源から供給される電力によって異なります。最大充電速度を確保するには、定格20ワット以上でQuick Charge 3.0（QC 3.0）に対応したUSB-C電源を使用してください。Traxxas USB-C AC電源アダプター（部品番号2912）と電源ケーブル（部品番号2916）は、充電器からフル充電出力を供給できるように設計されています。

## ボディの取り外しと取り付け

シャーシにアクセスするために本体を取り外すには:

1. トラックのボディの下に手を伸ばし、ラッチを外側に引きます。  
トラックボディの外側に取り外して、フロントおよびリアボディマウントから外します。
2. ラッチを押し上げて、マウントから完全に外します。
3. 本体をシャーシからまっすぐ持ち上げます。本体の前後を均等に持ち上げないと、取り外しが難しくなる場合があります。



本体を再インストールするには:

1. シャーシにボディを配置します。ボディの前後を合わせます。  
バンパー付きのボディ。
2. ラッチが固定されるまで、各ラッチ位置で本体を押し下げます。

所定の位置にカチッとめ込みます。

注: クリップレスシステムを正常に動作させるには、ボディのラッチとフロントおよびリアボディマウントのスロットを定期的に点検し、清掃してください。これらの部品に汚れや埃が蓄積すると、クリップレスシステムがスムーズに動作しなくなります。

## バッテリーパックの取り付け

バッテリー ワイヤがモデルの背面を向くようにして、バッテリー パックをトレイに置きます。

バッテリー固定金具をシャーシの方向に回し、端を後部の固定金具にカチッとめ込みます。

リテーナー。



## Traxxas高電流コネクタ

お使いのモデルには、Traxxas高電流コネクタが装備されています。標準コネクタは電流の流れを制限し、電子スピードコントロールの出力を最大限に引き出すために必要な電力を供給することができません。Traxxasコネクタは、広い接触面積を持つメッキ端子により、最小限の抵抗で確実に電流を流すことができます。しっかりと固定され、長寿命で、握りやすいTraxxasコネクタは、バッテリーの電力を最大限に引き出すように設計されています。



## アンテナの設置

受信アンテナは

工場出荷時に設置済みです。アンテナは3x4mmのセットスクリューで固定されています。取り外すには

アンテナチューブを外すには、付属の1.5mmレンチで止めネジを外すだけです。

アンテナを再度取り付ける際は、まずアンテナ線をアンテナチューブの底部に差し込み、白い部分が

アンテナの先端は黒いキャップの下のチューブの上部にあります。

次に、アンテナ線がアンテナマウントのスロットに入っていることを確認しながら、アンテナチューブをマウントに挿入し、アンテナチューブの横にあるセットスクリューを取り付けます。付属の1.5mmレンチを使用して、アンテナチューブがしっかりと固定されるまでネジを締めます。

締めすぎないでください。アンテナ線を曲げたり、ねじったりしないでください。詳しくはサイドバーをご覧ください。アンテナチューブを短くしないでください。



模型を操作する前に、受信機アンテナが正しく取り付けられていることを確認してください。受信機アンテナが正しく取り付けられていない場合、無線範囲が大幅に狭まり、操縦不能になる可能性があります。



無線範囲の損失を防ぐため、黒色のワイヤーを曲げたり切断したりしないでください。また、金属の先端を曲げたり切断したりしないでください。さらに、金属の先端の端にある白いワイヤーを曲げたり切断したりしないでください。



正解 いいえ いいえ いいえ



モデルの損傷を防ぐため、必ず TQi トランスミッターを最初にオンにし、最後にオフにしてください。



#### 自動フェイルセーフ

TQi 送信機と受信機には、ユーザーによるプログラミングを必要としない自動フェイルセーフシステムが装備されています。

信号が途絶えたり干渉が生じたりした場合、スロットルはニュートラルに戻り、ステアリングは最後に指示された位置を保持します。模型を操縦中にフェイルセーフが作動した場合は、信号が途絶えた原因を特定し、問題を解決してから模型を再び操縦してください。



電池の残量が少なくなってきたら、すぐに走行を停止してください。バッテリーパックを接続しているときは、送信機の電源を絶対に切らないでください。モデルが制御不能になる可能性があります。

**Q5**

#### 無線システムコントロール



#### 無線システム規則

- 送信機の電源は必ず最初に入れ、最後に切ってください。この手順は、他の送信機や他の機器からの不要な信号を受信して機体が暴走するのを防ぐのに役立ちます。

あなたのモデルには、この種の故障を防ぐための電子フェイルセーフが装備されていますが、暴走モデルに対する最初の最善の防御策は、常に送信機を最初にオンにし、最後にオフにすることです。



- 無線システムには必ず新しい電池を使用してください。電池が消耗すると、受信機と送信機間の無線信号が制限されます。無線信号が失われると、モデルの制御が失われる可能性があります。

- 送信機と受信機を結合するには、モデルの受信機を20秒以内にオンにする必要があります。
- 送信機の電源を入れてください。送信機のLEDが赤く速く点滅し、リンクに失敗したことを示します。もし見逃してしまった場合は、送信機の電源をオフにしてやり直してください。
- バッテリーを接続する前に必ず送信機の電源をオンにしてください。

#### 無線システムの基本調整

##### ステアリングトリム

送信機の表面にある電子ステアリング トリムは、ステアリング チャネルのニュートラル (中心) ポイントを調整します。

注：ステアリングトリムを調整する際は、Traxxas Stability Management (TSM) を完全にオフにしてください。TSMの調整については18ページをご覧ください。



##### 多機能ノブ

##### マルチファンクションノブ

様々な機能を制御するようにプログラムされています。工場出荷時には、マルチファンクションノブはTraxxas Stability Management (TSM) を制御します。TSMの詳細については、18 ページを参照してください。



#### 無線システムの使用

TQi無線システムは工場ですべて調整されています。輸送中に動いてしまう可能性もあるため、モデルを動作させる前に調整を確認してください。手順は以下のとおりです。

- 送信機のスイッチをオンにします。送信機のステータスLEDが点灯します。緑色に点灯します (点滅ではありません)。
- 全てのタイヤが合うように、モデルをブロックまたはスタンドの上に持ち上げます。地面から離してください。モデルの可動部分に手を触れないようにしてください。
- モデルのバッテリーパックをスピードコントロールに差し込みます。
- オン/オフスイッチはスピードコントロールに統合されています。送信機の電源をオンにした状態で、EZ-Setボタンを0.25秒押しして放します。LEDが赤く点灯します (以下の注記を参照)。これで機体がオンになります。VXL-3の電源をオフにするには、LEDが消えるまでEZ-Setボタンを0.5秒押し続けます。注記：LEDが緑色に点灯している場合は、低電圧検出機能が作動しています。これにより、NiMHバッテリーパックの性能が不安定になります。工場出荷時のデフォルト設定では、低電圧検出機能は無効になっています (LEDが緑色に点灯します)。

(赤く点灯します)。LiPoバッテリーをご使用の際は、必ず低電圧検出機能をオンにしてください。低電圧検出機能がオフになっている状態では、LiPoバッテリーを使用しないでください。詳細は19ページをご覧ください。

- 5.送信機のステアリングホイールを前後に回し、ステアリングサーボが急激に動くか確認してください。また、ステアリング機構に緩みや引っ掛かりがないか確認してください。ステアリングの動きが遅い場合は、電池が消耗していないか確認してください。

- 6.機体を見下ろした際、前輪は真っ直ぐ前を向いている必要があります。前輪がわずかに左または右に向いている場合は、TSM (ステアリング・システム)をオフにし (18ページ参照)、送信機のステアリング・トリム・コントロールをゆっくりと調整して前輪が真っ直ぐ前を向くようにします。その後、マルチファンクション・ノブを希望のTSM設定に戻します。



- 7.スロットルトリガーを軽く操作して、前進と後進の操作、およびスロットルトリガーがニュートラルの位置にあるときにモーターが停止することを確認してください。警告：モデルを持ち上げている間は、前進または後進でスロットルを全開にしないでください。

- 8.調整が完了したら、モデルの受信機をオフにし、次にハンドヘルド送信機をオフにします。

#### 無線システムの範囲テスト

モデルで実行セッションを行う前に、無線システムの範囲テストを行って、正常に動作することを確認する必要があります。

- 無線システムの電源をオンにし、前のセクションで説明したように動作を確認します。
- 友人に模型を持ってもらいます。模型の車輪やその他の可動部分に手や衣服が触れないようにしてください。
- モデルを操作する予定の最長距離に達するまで、送信機を持ってモデルから離れます。
- 送信機のコントロールをもう一度操作して、モデルが正しく応答することを確認します。
- 無線システムに問題がある場合、またはご使用の場所で無線信号に外部からの干渉がある場合は、モデルを操作しないでください。

速度が速いほど距離が長くなる

模型を速く運転すればするほど、無線範囲の限界に近づく速度も速くなります。時速60マイル (約96km/h)では、模型は毎秒88フィート (約26メートル)も移動できます!スリル満点ですが、模型を範囲内に収めるには注意が必要です。模型が最高速度に達する様子を見た場合は、トラックの走行エリアの端ではなく、中央に立って、自分の位置に向かってトラックを運転し、自分の位置を通り過ぎていくのが最適です。

このテクニックにより、無線の範囲が最大化されるだけでなく、モデルが自分の近くに配置され、見やすく、制御しやすくなります。

模型をどれだけ速く、どれだけ遠くまで運転するかに関わらず、常に自分と模型、そして他の車両との間に十分な距離を保ってください。決して自分や他の車両に向かって運転しないでください。

#### TQiバインディング手順

正しく動作させるには、送信機と受信機が電子的に「バインド」されます。これは工場ですでに行われています。システムを再バインドする必要がある場合、または追加の送信機または受信機にバインドする必要がある場合は、以下の手順に従ってください。注：バインドするには、受信機を4.8~6.0V (公称)の電源に接続し、送信機と受信機を互いに5フィート (約1.5メートル)以内の距離に設置する必要があります。

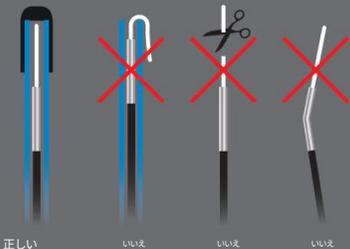
- 送信機のSETボタンを押したまま、送信機の電源を入れます。送信機のLEDがゆっくりと赤色に点滅します。SETボタンを放します。
- 受信機のLINKボタンを押しながら電源を入れます。速度制御 (EZ-Setボタンを押して)を解除します。LINKボタンを放します。
- 送信機と受信機のLEDが緑色に点灯したら、システムはバインドされ、使用可能です。モデルを運転する前に、ステアリングとスロットルが正常に動作することを確認してください。



リバースの使用: 運転中に、スロットルトリガーを前方に押しとブレーキがかかります。停止したら、スロットルトリガーをニュートラルに戻します。スロットルトリガーをもう一度前方に押しと、比例後進が作動します。



無線範囲の損失を防ぐため、黒色のワイヤーを曲げたり切断したりしないでください。また、金属の先端を曲げたり切断したりしないでください。さらに、金属の先端の端にある白いワイヤーを曲げたり切断したりしないでください。



### TRAXXAS スタビリティマネジメント (TSM)



Traxxas Stability Management (TSM)は、トラクションの低い状況でも車両のコントロールを維持できるようにサポートすることで、Traxxasモデルに搭載されたスピードと加速性能を最大限に引き出します。TSMは、滑りやすい

路面でも、フィッシュテールやスピニアウト、コントロールロスを起こさずに、直進性を高め、フルスロットル加速を実現します。また、TSMはブレーキコントロールも劇的に向上させます。TSMが自動的に補正を行うため、高速コーナリングとコントロールも可能になります。ドライバーの楽しみを損なったり、予期せぬ副作用を引き起こしたりすることはありません。

TQi送信機のマルチファンクションノブはTSMを制御するようにプログラムされています。TSMの推奨設定（デフォルト）は、ノブを回して

12:00の位置（文字盤のゼロマーク）。

ノブを時計回りに回すとアシスト力が増し、反時計回りに回すとアシスト力が減ります。

ノブを反時計回りに回すと

TSM を完全にオフにするには停止します。注意:後進走行時またはブレーキをかける時、TSM は自動的に無効になります。



ある程度のトラクションがある路面を走行する際は、TSM設定を下げて、パワースライドやドリフトなどで車両をより「ルーズ」に感じさせます。トラクションが非常に少ない路面（ルーズダート、滑らかなコンクリート、氷/雪）では、TSM設定を上げて加速とコントロールを最大限に高めます。

TSMのオン/オフを切り替えて運転し、車両のコントロールがどれだけ容易かつ正確になるかお試しください。詳しくはTraxxasをご覧ください。

[com/tsm](http://com/tsm) をご覧ください。

注意:ステアリング トリムを調整するときは、TSM を完全にオフにする必要があります。

## 電子速度制御の調整

## VXL-3s バッテリー設定 (低電圧検出設定)

Velineon VXL-3s電子スピードコントロールには、低電圧検出機能が内蔵されています。低電圧検出回路はバッテリー電圧を常に監視しています。バッテリー電圧がLiPoバッテリーパックの推奨放電電圧閾値に達し始めると、VXL-3sは出力を50%スロットルに制限します。バッテリー電圧が最小閾値を下回ろうとすると、VXL-3sはすべてのモーター出力を停止します。スピードコントロールのLEDがゆっくりと赤色に点滅し、低電圧シャットダウンを示します。VXL-3sは、完全に充電されたバッテリーが接続されるまでこのモードを維持します。

モデルの電源を入れると、VXL-3sスピードコントロールのステータスLEDが緑色に点灯します。これは、LiPoバッテリーの過放電を防ぐための低電圧検出機能が作動していることを示します。LiPoバッテリーは、LiPoバッテリーの使用に伴うリスクについて十分な知識を持つ上級ユーザーのみを対象としています。



## 警告: 火災の危険!

低電圧検出が無効になっているこの車両では、LiPo バッテリーを使用しないでください。

低電圧検出設定を確認するには:

- 送信機をオンにします (スロットルはニュートラルの位置)。
- 完全に充電されたバッテリーパックを VXL-3s に接続します。
- EZ-Set ボタンを押して放し、VXL-3s の電源を入れます。LED が赤く点灯している場合は、低電圧検出機能が無効になっています (LiPo バッテリーの使用は安全ではありません)。LED が緑に点灯している場合は、低電圧検出機能が有効化されています。

低電圧検出を有効にするには (LiPo 設定) :

- VXL-3 の LED が点灯し、赤色になっていることを確認します。
- EZ-Set ボタンを10秒間押し続けます。LED が消灯し、その後緑色に点灯します。また、モーターから「上昇」音が出ます。



- 低電圧検出がアクティブになりました。

低電圧検出が無効にするには (NiMH 設定) :

- VXL-3 の LED が点灯し、緑色になっていることを確認します。
- EZ-Set ボタンを10秒間押し続けます。LED が消灯し、その後赤く点灯します。また、モーターから「下降」音が出ます。



- 低電圧検出が無効になりました。

## VXL-3s ESCの送信機調整

VXL-3s ESCのプログラミングを始める前に、送信機が適切に調整されている (工場出荷時のデフォルトに戻されている)ことを確認することが重要です。そうしないと、スピードコントローラーの最高のパフォーマンスが得られない可能性があります。

送信機は次のように調整する必要があります。

送信機の設定が調整されている場合は、工場出荷時の設定にリセットします。

- 送信機の電源をオフにします。
- MENUとSETを両方押し続けます。
- 送信機をオンにします。

- MENUとSETボタンを離します。送信機のLEDが赤く点滅します。

- SETを押して設定をクリアします。LEDが緑色に点灯し、送信機が起動します。デフォルトに復元されました。

## VXL-3s セットアッププログラミング (ESC と送信機のキャリブレーション)

始める前に、プログラミング手順をすべて読んでください。プログラミング中に迷ったり、予期しない結果が出たりした場合は、バッテリーを取り外し、数秒待ってからバッテリーを再度差し込み、最初からやり直してください。

- 完全に充電されたバッテリーパックを VXL-3s に接続します。
- 送信機をオンにします (スロットルはニュートラルの位置)。
- EZ-Set ボタン (A) を長押しします。LED が最初に緑色に点灯し、次に赤色に点灯します。EZ-Set ボタンを離します。
- LED が赤色で 1 回点滅したら、スロットル トリガーをフル スロットルの位置まで引いて、その位置に保持します (B)。
- LED が赤色で 2 回点滅したら、スロットル トリガーを完全に後進まで押して、その位置に保持します (C)。
- LED が緑色に 1 回点滅したら、プログラミングは完了です。その後、LED が緑色または赤色に点灯し (低電圧検出の設定によって異なります)、VXL-3s がオンで中性 (D) であることを示します。



## VXL-3sの操作

速度制御とプログラミングのテストを行うには、車両を安定した台またはスタンドの上に置き、すべての駆動輪が地面から離れていることを確認してください。モーターの配線「A」と「C」を外してください (12 ページ参照)。これにより、テスト中にモーターが車輪を駆動することがなくなります。モーターの配線を外さずにプログラミングのテストを行わないでください。

以下の手順1~7では、低電圧検出が有効 (工場出荷時の設定) になっており、LEDが緑色に点灯していることにご注意ください。低電圧検出が無効になっている場合は、以下の手順1~7でLEDが緑色ではなく赤色に点灯します。低電圧検出が無効になっている間は、LiPoバッテリーを使用しないでください。

- 送信機の電源を入れ、EZ-Setボタンを押して放します。LEDが点灯します。緑色。これでVXL-3sがオンになります。
- スロットルを前進させます。フルスロットルパワーに達するまでLEDは消灯します。フルスロットルのときは、LEDが緑色に点灯します。
- トリガーを前方に引くとブレーキがかかります。ブレーキ制御は完全に比例制御です。ブレーキ力が最大になるまでLEDは消灯します。ブレーキ力が最大になると、LEDは緑色に点灯します。
- スロットルトリガーをニュートラルに戻します。LEDが緑色に点灯します。
- スロットルトリガーをもう一度前方に動かして後進状態にします (プロファイル #1)。LEDは消灯します。逆回転力が最大に達すると、LEDは緑色に点灯します。
- 停止するには、スロットルトリガーをニュートラルに戻します。後進から前進へのシフトチェンジには、プログラムされた遅延時間があります。これは、高摩路面でのトランスミッションの損傷を防ぐためです。
- VXL-3 の電源をオフにするには、LED が消えるまで (0.5 秒) EZ-Set ボタンを押します。



## VXL-3s 仕様

入力電圧:  
4.8~11.1V (4~9セル  
NiMHまたは2S~3S LiPo)

サポートされているモーター:  
ブラシレス

モーター制限:  
なし

連続電流:  
200A

ピーク電流:  
320A

BEC電圧:  
6.0V DC

トランジスタタイプ:  
MOSFET

バッテリーコネクタ:  
Traxxas高電流  
コネクタ

モーターコネクタ :TRX  
3.5mmバレットコネクタ

モーター/バッテリー配線:  
12ゲージMaxx®ケーブル  
熱保護:  
2段階サーマルシャットダウン



特許取得済みのトレーニングモード（プロファイル #3）では、前進および後進のスロットルが 50% 削減されます。トレーニングモードは出力を下げることで初心者のドライバーがモデルをより適切に制御できるようにするものです。

運転技術が向上したら、スポーツモードまたはレースモードに切り替えるだけで、フルパワーで運転できます。



#### 高速モード変更のヒント

VXL-3s は、デフォルトでプロファイル 1（スポーツモード）に設定されています。プロファイル 3（トレーニングモード）に素早く変更するには、送信機の電源を入れた状態で EZ-Set ボタンを長押しし、ライトが赤く 3 回点滅したら放します。

フルパワーにするには、

EZ-Set ボタンを赤色のライトが 1 回点滅するまで押し、その後解放します。



VXL-3s には、前進中に誤って後進モードに入ったり、その逆を行ったりするのを防ぐためのプログラムが組み込まれています。モーターを希望の方向に動かすには、完全に停止し、スロットルトリガーを放してから、反対側のスロットルを操作してください。

#### VXL-3s プロファイル選択

速度制御は、工場出荷時にプロファイル #1（100% 前進、ブレーキ、後進）に設定されています。後進を無効にする（プロファイル #2）、または前進 50%、後進 50% を許可する（プロファイル #3）には、以下の手順に従ってください。スピードコントローラーを受信機とバッテリーに接続し、送信機を前述のように調整してください。プロファイルは、プログラミングモードに入ることで選択できます。

#### プロフィールの説明

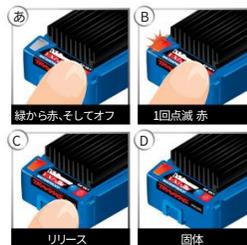
プロファイル #1（スポーツモード）：前進 100%、ブレーキ 100%、後進 100%

プロファイル #2（レースモード）：100% 前進、100% ブレーキ、後進なし

プロファイル #3（トレーニングモード）：前進 50%、ブレーキ 100%、後進 50%

スポーツモードの選択（プロファイル #1：前進 100%、ブレーキ 100%、後進 100%）

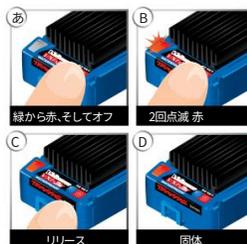
- 完全に充電されたバッテリーパックを VXL-3 に接続し、送信機をオンにします。
- VXL-3 の電源がオフの状態、LED が緑色に点灯し、次に赤色に点灯し、その後赤色に点滅し始めるまで（プロファイル番号を示す）、EZ-Set ボタンを押し続けます。



- LED が赤く 1 回点滅したら、EZ-Set ボタンを放します。
- LED が点滅し、その後緑色（低電圧検出有効）または赤色（低電圧検出無効）に点灯します。モデルは走行準備完了です。

レースモードの選択（プロファイル #2：前進 100%、ブレーキ 100%、後進なし）

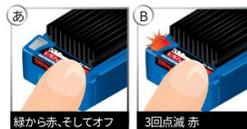
- 完全に充電されたバッテリーパックを VXL-3 に接続し、送信機をオンにします。
- VXL-3 の電源がオフの状態、LED が緑色に点灯し、次に赤色に点灯し、その後赤色に点滅し始めるまで（プロファイル番号を示す）、EZ-Set ボタンを押し続けます。



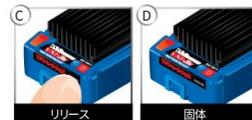
- LED が赤く 2 回点滅したら、EZ-Set ボタンを放します。
- LED が点滅し、その後緑色（低電圧検出有効）または赤色（低電圧検出無効）に点灯します。これで走行準備完了です。

トレーニングモードの選択（プロファイル #3：前進 50%、ブレーキ 100%、後進 50%）

- 完全に充電されたバッテリーパックを VXL-3 に接続し、送信機をオンにします。
- VXL-3 の電源がオフの状態、EZ-Set を押し続けます。ボタンを押し続けると、LED が緑色に点灯し、次に赤色に点灯し、その後赤色に点滅し始めます（プロファイル番号を示します）。
- LED が赤く 3 回点滅したら、EZ-Set ボタンを放します。



- LED が点滅し、その後緑色（低電圧検出有効）または赤色（低電圧検出無効）に点灯します。これで走行準備完了です。



注：必要なモードを見逃した場合は、EZ-Set ボタンを押し続けます。ボタンを放してモードが選択されるまで、点滅サイクルが繰り返されます。

#### LEDコードと保護モード

- 緑色点灯：VXL-3の電源オンライト。低電圧検出が有効（LiPo設定）。
- 赤点灯：VXL-3s 電源オンライト。低電圧検出は無効です（NiCad/NiMH 設定）。低電圧検出が無効になっている間は、LiPo バッテリーを使用しないでください。赤ゆっくり点滅（低電圧検出オン）：VXL-3s は低電圧保護状態です。バッテリー電圧が LiPo バッテリーパックの推奨最小放電電圧しきい値に達し始めると、VXL-3s は出力を 50% スロットルに制限します。バッテリー電圧が最小しきい値を下回ろうとすると、VXL-3s はすべてのモーター出力を停止します。

スピードコントロールのLEDがゆっくりと赤色に点滅し、低電圧シャットダウンを示します。VXL-3s は、完全に充電されたバッテリーが接続されるまでこのモードを維持します。赤色の高速点滅：サーマルシャットダウン

保護ステージ 1。モーターの電力が通常より低く、VXL-3s が高温になっている場合、VXL-3s は過電流による過熱を防ぐため、ステージ 1 サーマルシャットダウン保護モードに移行しています。モーターに電力が供給されおらず、VXL-3s が非常に高温になっている場合、VXL-3s はステージ 2 サーマルシャットダウン保護モードに移行し、自動的にシャットダウンします。

VXL-3 を冷ましてください。お使いのモデルが状況に応じて適切に調整されていることを確認してください（26 ページ参照）。

照）。赤色の非常に速い点滅：過熱保護と低電圧保護（上記参照）が同時に発生しています。

交互に点滅：赤→緑：モーターに電力が供給されていない場合、VXL-3s は過電圧保護状態です。電圧が高すぎるバッテリーが使用されている場合、VXL-3s はフェイルセーフモードに入ります。警告：入力電圧が約 20 ボルトを超えると、ESC が損傷する可能性があります。最大ピーク入力電圧の 12.6V を超えないようにしてください。

緑点滅：VXL-3s は送信機のスロットルトリム（30 ページ参照）が正しく設定されていないことを示しています。マルチファンクションノブがスロットルトリムに設定されている場合は、スロットルトリムを中央の「0」に調整してください。

## モデルの駆動

さあ、いよいよお楽しみの時間です！このセクションでは、モデルの運転と調整方法について説明します。始める前に、いくつか重要な注意事項をお伝えします。• 走行の合間に、モデルを数分間冷ましてください。これは、長時間の走行を可能にする大容量

(2400mAh以上)のバッテリーパックを使用する場合に特に重要です。温度を監視することで、バッテリーとモーターの寿命を延ばすことができます。

- 電池残量が少ない状態で操縦を続けしないでください。操縦不能に陥る可能性があります。電池残量が少ない場合は、操縦が遅くなったり、サーボの動きが鈍くなったり（センター復帰が遅くなる）することがあります。電池残量が少なくなった兆候が見られたら、すぐに操縦を中止してください。送信機の電池残量が少なくなると、赤い電源ライトが点滅し始めます。すぐに操縦を中止し、新しい電池を取り付けてください。

- 夜間、公道、または人混みの中では運転しないでください。人々。

- モデルが何かに引っかかってしまった場合は、モーターの回転を止め、障害物を取り除いてから作業を再開してください。モデルで何かを押したり引っ張ったりしないでください。

- 本モデルは無線操縦のため、操縦者の制御が及ばない様々な電波干渉の影響を受けます。電波干渉は一時的な操縦不能を引き起こす可能性があるため、衝突を防ぐため、本モデルの周囲全方向に安全マージンを確保してください。

- モデルを運転するときは常に常識を持って運転してください。故意に乱暴な運転をすると、性能が低下したり、部品が壊れたりしてしまいます。未永くご愛用いただけるよう、大切にお使いください。

- 高性能車両は小さな振動を発生し、緩む可能性があります

ハードウェアは経年劣化により劣化します。車両のホイールナットやその他のネジを頻繁に点検し、すべてのハードウェアが適切に締め付けられていることを確認してください。

### 実行時間について

動作時間に影響を与える大きな要因は、バッテリーの種類と状態です。

バッテリーのミアンペアアワー（mAh）定格によって、「燃料タンク」の容量が決まります。3000mAhのバッテリーパックは、理論上、1500mAhのスポーツパックの2倍の駆動時間となります。バッテリーの種類や充電方法には大きなばらつきがあるため、モデルの正確な駆動時間を示すことは不可能です。

走行時間に影響を与えるもう一つの大きな要因は、モデルの運転方法です。停止状態から最高速度まで繰り返し運転したり、急加速を繰り返したりすると、走行時間が短くなる可能性があります。

### 実行時間を延ばすためのヒント

- 購入できる最高のmAh定格のバッテリーを使用してください。

- 高品質のピーク検出充電器を使用してください。• バッテリー

と充電器のメーカーが提供するメンテナンスとお手入れの手順をすべて読んで、それに従ってください。

- VXL-3を涼しく保ち、ESCのヒートシンクに十分な空気の流れを確保してください。• バッテリーに適した低電圧検出設定を使用してください（19ページ参照）。低電圧検出機能がオフになっている間は、LiPoバッテリーを使用しないでください。• ギア比を下げてください。ピニオンギアを小さくしたり、スパーギアを大きくしたりするとギア比が下がり、モーターとバッテリーからの電力消費が減り、全体的な動作温度が低下します。

- モデルのメンテナンスを行ってください。汚れや損傷した部品がドライブトレインに固着しないように注意してください。モーターは清潔に保ってください。

### mAh定格と電力出力

バッテリーのmAh定格は最高速度に影響を与えます。高容量バッテリーパックは、低mAh定格のバッテリーパックよりも高負荷時の電圧降下が少なくなります。高い電圧ポテンシャルにより、バッテリーが放電し始めるまで速度を上げることができます。

### 雨天時の走行

新しいTraxxasモデルは、モデル内の電子機器（受信機、サーボ、電子速度制御）を保護するため、防水機能を備えています。これにより、水たまり、濡れた草、雪など、水に濡れた路面でも自由に走行を楽しむことができます。高い耐水性を備えていますが、モデルは水中に沈められる、あるいは完全に100%防水であるかのように扱わないでください。耐水性は搭載されている電子部品のみ適用されません。水に濡れた路面での走行は、金属部品の腐食を防ぎ、正常な動作を維持するために、機械部品と電気部品の特別なメンテナンスが必要です。

### 予防

- 適切なメンテナンスを行わないと、模型の一部の部品が水との接触により深刻な損傷を受ける可能性があります。濡れた状態での走行後は、模型の性能を維持するために追加のメンテナンスが必要になります。追加のメンテナンスやメンテナンスの責任を負いかねる場合は、濡れた状態での走行は避けてください。

- すべてのバッテリーが湿潤環境で使用できるわけではありません。バッテリーが湿潤環境で使用可能かどうかは、バッテリーメーカーにお問い合わせください。

- Traxxas TQ 2.4GHz送信機は防水仕様ではありません。雨などの濡れた場所に放置しないでください。

- 暴風雨や雷が発生する可能性のある悪天候時にはモデルを操作しないでください。



- モデルを塩水（海水）、汽水（淡水と海水の間）、その他の汚染された水に接触させないでください。塩水は導電性が高く、腐食性も非常に高いため、ビーチやその近くでモデルを動作させる場合は特に注意してください。

- たとえ水に軽く触れただけでも、モーターの寿命が短くなる可能性があります。濡れた路面では、ギア比や運転スタイルを慎重に調整することで、モーターの寿命を延ばすことができます（詳細は後述）。

#### 濡れた路面で車を運転する前に

1. 作業を進める前に、「雨天走行後」のセクションをご確認ください。雨天走行時に必要な追加メンテナンスについて必ずご確認ください。

2. ホイールには、通常の走行中に空気が入り出せるように小さな穴が開けられています。タイヤに穴を開けないと、水がこれらの穴に入り込み、タイヤ内に閉じ込められてしまいます。各タイヤに2つの小さな穴（直径3mmまたは1/8インチ）を開けてください。穴はタイヤの中心線付近に、180°間隔で開けてください。

3. 受信機ボックスのカバーが正しく取り付けられていることを確認し、

しっかり固定してください。ネジがしっかり締まっていることを確認してください。

4. バッテリーが濡れた状態でも使用できることを確認します。

#### モーターの注意事項

- 泥や水に濡れると、モーターの寿命が大幅に短くなる可能性があります。モーターが過度に濡れたり、水没したりした場合は、余分な水がなくなるまで、スロットルを非常に軽く（ゆっくりと）回してください。水が溜まったモーターに全開で運転すると、モーターが急速に故障する可能性があります。モーターが濡れた場合の寿命は、運転習慣によって左右されます。モーターを水没させないでください。

- 濡れた状態で運転する場合は、温度によってモーターのギア比を調整しないでください。モーターは水に触れることで冷却され、適切なギア比を正確に判断できなくなります。

#### 濡れた路面で車を運転した後

1. タイヤを高速回転させて「スリング」し、タイヤの空気を抜きます。水を抜く。これを行う一つの方法は、可能であれば、平らで乾いた表面で高速で数回往復させることです。
2. 電池を取り外します。
3. 低圧水でトラックの余分な汚れや泥を洗い流します。庭のホースなどから水をかけないでください。高圧洗浄機などの高圧水は使用しないでください。ベアリングやトランスミッションなどに水が直接かからないようにしてください。

4. 圧縮空気でトラックを吹き飛ばす（オプションですが、推奨）。圧縮空気を使用するときは安全メガネを着用してください。
5. トラックから車輪を取り外します。
6. すべてのベアリング、ドライブトレイン、ファスナーにWD-40®または同様の水置換軽油。
7. トラックをそのままにしておくと、圧縮空気で吹き飛ばされる可能性があります。トラックを暖かく日当たりの良い場所に置くことで乾燥が促進されます。トラック内に閉じ込められた水や油は数時間にわたって滴り続けます。下面を保護するためにタオルまたは段ボールの上に置いてください。

8. 予防措置として、受信機ボックス上部のゴム栓を外し、水や湿気が溜まっていないか確認してください。可能性は低いですが、雨天走行時には湿気や微量の水分、結露が受信機ボックス内に侵入する可能性があります。これは、受信機内の繊細な電子部品に長期的な問題を引き起こす可能性があります。

水が入っている場合は、保管中にゴム栓を外して内部の空気を乾燥させてください。この手順により、受信機の長期的な信頼性が向上します。

9. 追加メンテナンス :以下の部品の分解、点検、潤滑の頻度を増やしてください。これは、長期間の雨天時の使用後、または車両を長期間（1週間以上など）使用しない場合に必要です。

この追加のメンテナンスは、閉じ込められた水分が内部の鉄鋼部品を腐食するのを防ぐために必要です。

- スタブ アクスル ハウジング ベアリング:ベアリングを取り外し、清掃し、再度オイルを塗り直す。
- スパーギアとピニオンギア :ギアの摩耗、歯の破損、歯の間に挟まった異物などがなければ点検してください。ギアに潤滑油を塗る必要はありません。

- Velineonモーター :濡れた状態や泥だらけの状態では模型を操作した後は、モーターを取り外し、ベアリングに付着した泥や汚れをきれいに拭き取ってください。後部ベアリングにアクセスするには、プラスチックキャップを親指で押して外すか、マイナスドライバーで軽くこじって外してください。腐食を防ぎ、ベアリングの寿命を最大限に延ばすために、ベアリングに軽油（お近くのホビーショップで入手可能）を塗布してください。これらの手順に従うことで、モーターの寿命を延ばし、最高のパフォーマンスを維持できます。スプレー式のクリーナーを使用する際は、必ず保護眼鏡を着用してください。

## 基本的なチューニング調整

モデルの運転に慣れてきたら、運転性能を向上させるために調整が必要になる場合があります。

## ギアメッシュの調整

ギアの噛み合い不良は、スパーギアの破損の最も一般的な原因です。Mini Maxxには、ギアの噛み合い調整を簡素化し、適切なギア噛み合い設定を保証する固定ギアポジショニングシステムが搭載されています。ギアカバーから4本の3x12mm ボタンヘッドキャップスクリューを外すと、ギアにアクセスできます。モーター/ギアカバーアセンブリをシャーシから取り外します。



ギアの噛み合いを設定するには、右の表を参照して、選択したモーターピニオン（18T～25T）とスパーギアサイズ（4T）に対応するギアカバー（AI）のネジ位置を確認してください。モーター/ギアカバーから2本のネジを外し、対応する位置に取り付けます。モーター/ギアカバーアセンブリをシャーシに取り付けます。

## ショックマウント位置

このモデルには、サスペンションを調整できるように、取り付け位置を調整できるショックアブソーバーが装備されています。

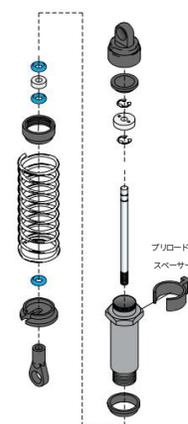
あらゆる走行条件において優れたハンドリング性能を発揮するように設計されています。過酷なオフロード走行では、下部ショックアブソーバーをポジション2（中央の穴）に調整してください。ポジション1は使用しないでください。



## ショックアブソーバーの微調整

このモデルの4つのショックアブソーバーは、ハンドリングに大きな影響を与えます。ショックアブソーバーを組み直す際、またはピストン、スプリング、オイルを交換する際は、必ず前後ペアで交換してください。ピストンの選択は、使用可能なオイル粘度の範囲によって異なります。例えば、2穴ピストンに低粘度オイルを使用すると、ある時点では3穴ピストンに高粘度オイルを使用した場合と同じ減衰力が得られます。

3穴ピストンには、10Wから80Wまでの粘度のオイル（お近くのホビーショップで入手可能）をご使用いただくことをお勧めします。粘度の低いオイル（30W以下）は、よりスムーズで安定した流れを実現し、粘度の高いオイルはダンピング効果を高めます。シール寿命を延ばすため、100%ピュアシリコンショックオイルのみをご使用ください。工場出荷時には、フロントショックとリアショックに20Wオイルが充填されています。

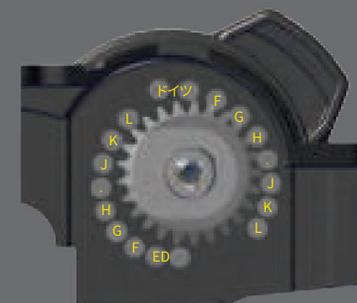


車高を調整し、サスペンションアームが地面と平行になる位置より少し上に来るようにします。コーナリング時のハンドリングを観察してください。適切なセッティングは安定性を高め、スピンアウトを防ぐのに役立ちます。様々なスプリングとショックオイルを試してみ、現在の路面状況に最適なものを見つけてください。

## サーボの中心合わせ

モデルのステアリングサーボからサーボホーンを取り外した場合、またはサーボがサービスクリーニングのために取り外された場合は、サーボホーンを取り付ける前、またはサーボをモデルに取り付ける前に、サーボを再び中心に配置する必要があります。

- ステアリングサーボからサーボホーンを取り外します。
- ステアリングサーボを受信機のチャンネル1に接続します。ESC（電子速度制御装置）をチャンネル2に接続します。サーボリード線の白いワイヤーは受信機のLEDに向けます。
- 送信機に新しい単3電池を入れ、送信機の電源スイッチをオンにします。
- 送信機のステアリングトリムノブを中央の「0」の位置に回します。
- モーターの配線を外します（12ページ参照）。モーターが故障するのを防ぎます。次のステップ中に回転しないようにします。
- 新しいバッテリーパックをスピードコントロールに接続し、電源を入れます。ESC（19ページ参照）サーボの出力軸は自動的に中央位置に移動します。
- サーボホーンをサーボ出力軸に取り付けます。サーボホーンはシャーシの中心を向き、サーボ本体に対して垂直になるようにします。
- ステアリングホイールを前後に回してサーボの動作を確認し、機構が正しくセンターに配置され、両方向のストロークが均等であることを確認します。送信機のステアリングトリムノブを使用してサーボホーン的位置を微調整し、ステアリングホイールがニュートラルのときにモデルが直進するようにします。



ネジの位置

平歯車

	47
18 D	
19	E
20	F
21	G
22	H
23	
24	J
25	K
26	L

標準装備のギア

## モデルのメンテナンス

モデルを最高の状態に保つには、定期的なメンテナンスが必要です。以下の手順を必ずお守りください。

車両に明らかな損傷や摩耗がないか点検してください。以下の点に注意してください。

1. ひび割れ、曲がり、または破損した部品 2. ホイールとステアリングが固着していないか確認します。
3. ショックアブソーバーの動作を確認します。
4. 配線が擦り切れていたり、接続が緩んでいたりしないか確認します。
5. 受信機とサーボの取り付けと速度制御を確認します。
6. レンチを使用してホイールナットの締め付け具合を確認します。
7. 無線システムの動作、特に電池の状態を確認します。
8. シャーシ構造またはサスペンションのネジが緩んでいないか確認します。
9. ステアリングサーボの動作をチェックし、固着していないことを確認します。
10. ギアの摩耗、歯の破損、またはゴミの詰まりがないか点検する歯の間に。

その他の定期メンテナンス：

- シャーシ: シャーシに蓄積した汚れや埃を取り除いて清潔に保ちます。定期的にシャーシに損傷がないか点検してください。
- ステアリング : 時間の経過とともに、ステアリングシステム。使用により摩耗する部品がいくつかあります。必要に応じてこれらの部品を交換し、工場出荷時の公差を回復してください。ベルクランクブッシングは、5x8mmおよび5x10mmのボールベアリング（部品番号5114Aおよび5115A）に交換できます。

• ショック : ショックのオイルレベルは常に満タンにしてください。100%のオイルのみを使用してください。

シールの寿命を延ばすために、純粋なシリコンショックオイルを使用してください。ショックの上部付近からオイル漏れが発生している場合は、トップキャップのブラダーを点検し、締めすぎによる損傷や歪みがないか確認してください。ショックの下部からオイル漏れが発生している場合は、リビルドが必要です。Traxxasのショック2個用リビルドキットは、部品番号2362です。

• サスペンション: モデルに損傷の兆候がないか定期的に点検してください。サスペンションピンの曲がりや汚れ、ネジの緩み、ストレスや曲がりの兆候など、部品の損傷がないか確認してください。必要に応じて部品を交換してください。

• ドライブライン : ドライブラインに摩耗の兆候がないか点検し、ドライブヨークの摩耗、アクスルハーフシャフトの汚れ、異音や固着などがないか確認してください。Uジョイントが外れている場合は、部品を交換する必要があります。ピニオンギアの止めネジの締め付け具合を確認してください。必要に応じて部品を締め付けたり、清掃したり、交換したりしてください。

ストレージ

その日の模型の走行が終わったら、圧縮空気で吹き飛ばすか、柔らかい毛のペイントブラシを使用して車両のほこりを払い落とします。

模型を保管する際は、必ず模型からバッテリーを外してください。長期間保管する場合は、送信機からもバッテリーを取り外してください。

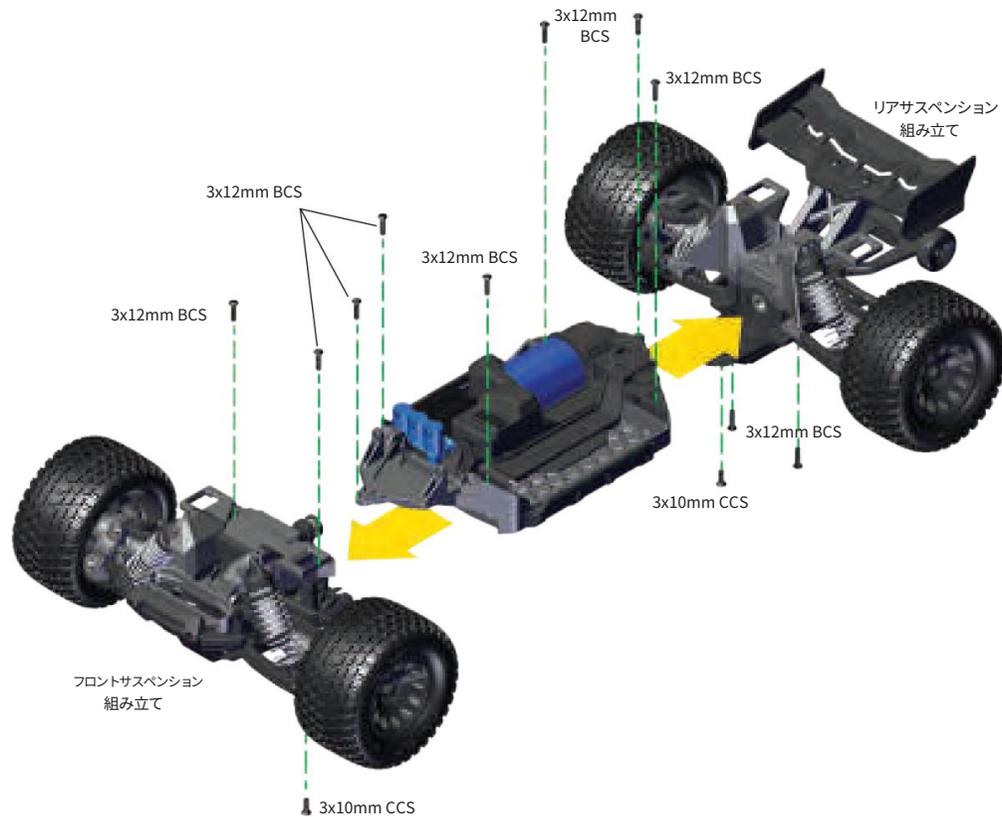
Mini XRTは、分解の容易さを考慮して設計されています。フロントおよびリアサスペンションアセンブリ全体を、数本のネジを外すだけでシャーシから完全に取り外すことができます。完全な組み立て図については、お使いのモデルのサービス&サポートガイドに含まれる分解図をご覧ください。

#### フロントサスペンションモジュールの取り外し

1. シャーシの上部から 5 本の 3x12mm ボタンヘッド キャップ ネジを取り外します。
2. スキッドプレートの背面から 3x10mm 皿頭ネジ 2 本を取り外します。
3. ステアリングドラッグリンクから 3x15mm ボタンヘッドキャップスクリューを取り外します。
4. フロントサスペンションアセンブリをシャーシから引き離します。

#### リアサスペンションモジュールの取り外し

1. シャーシの上部から 3 x 12 mm のボタンヘッド キャップ ネジ 3 本を取り外します。
2. 下部後部バルクヘッドから 3x12mm ボタンヘッド キャップ ネジ 2 本を取り外します。
3. スキッドプレートの前面から 3 つの 3x10mm 皿頭ネジを取り外します。
3. リアサスペンションアセンブリをシャーシから引き離します。



## 高度なチューニング調整

ギアリング互換性チャート:  
以下の表は、お使いのモデルに推奨  
されるギアの組み合わせの範囲を示していま  
す。

平歯車	
	47
18	10.23
19	9.69
20	9.20
21	8.77
22	8.37
23	8.00
24	7.67
25	7.36
26	7.08

 すぐに使えるセットアップで、ほとんどの実行に推奨されます。

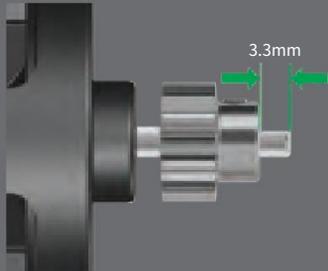
 使用可能なギア範囲。トルクと稼働時間が向上します。

 滑らかで硬い表面での高速走行。



## ピニオンの取り付け

モーターピニオンギアが取り外されたり、交換した場合は、モーターシャフトの端から3.3mm離して再取り付けする必要があります。



## モーターとギア

このモデルのトランスミッションの大きな利点の一つは、非常に幅広いギア比に対応できることです。非常に高温になる改造モーターでも駆動できるほど低いギア比を実現できます。

改造モーターは高回転で最大出力を発揮するため、純正モーターよりもギア比を低く(数値的に高く)する必要があります。ギア比が不適切な改造モーターは、ギア比が正しい純正モーターよりも遅くなる可能性があります。以下の式を使用して、記載されていない組み合わせの総合ギア比を計算してください。

ギアチャート:

$$\frac{\# \text{ 平歯車の歯}}{\# \text{ ピニオンギアの歯数}} \times 3.92 = \text{最終ギア比}$$

ギア比がオーバーになっているのではないかと心配な場合は、バッテリーバックとモーターの温度を確認してください。バッテリーが非常に熱くなっている場合、またはモーターが触れないほど熱い場合は、ギア比がオーバーになっている可能性があります。バッテリーが切れるまでに4分以上走行できない場合は、ギア比を下げてください。

この温度テストでは、モデルが工場出荷時の標準重量に近く、過度の摩擦、引きずり、拘束がなく自由に動作し、バッテリーが完全に充電され良好な状態であることを前提としています。

このモデルにはVelineon 3500モーターが搭載されています。各モデルに標準装備されているギアの組み合わせは、優れた加速性能と最高速度を実現します。最高速度を上げ、加速性能を抑えたい場合は、オプションの高速ギアリング(歯数増加、別売)を取り付けてください。オプションの高速ギアリングは、硬い路面での高速走行を目的としており、オフロードや頻繁な発進・停止には推奨されません。

## リチウムポリマーバッテリー

LiPoバッテリーは、LiPoバッテリーの使用に伴うリスクについて十分な知識を持つ上級ユーザーのみを対象としています。LiPoバッテリーの適切な充電、使用、保管については、バッテリーメーカーおよび充電器メーカーが提供するすべての指示に従うことが重要です。LiPoバッテリーの使用方法を必ず理解してください。

詳細については、4 ページの「安全上の注意事項と警告」を参照してください。

## 温度と冷却

温度を監視することで、バッテリーとモーターの寿命を延ばすことができます。温度を監視し、コンポーネントを冷却するのに役立つオプションは数多くあります。

## 温度センサー

モーターの温度を正確に監視し、過熱を防ぐために、テレメトリ温度センサー(部品番号6523)をモーターに取り付け、運転中に温度を継続的に監視することができます。一般的に、モーターの温度は200°F(約90°C)以下に保つようには、必要に応じて、ボディ後部またはフロントガラスを切り取ることで、モーターへの空気の流れを良くしてください。



## ヒートシンク冷却ファン

VXL-3sには、オプションのヒートシンク冷却ファン(部品番号3340)に電力を供給するための追加コネクタが装備されています。オプションのヒートシンク冷却ファンは、高電流モーターアプリケーションにおけるVXL-3sの冷却を補助します。



### 密閉ギアの調整

#### 差額

フロントおよびリアのギア差動装置の動作は、サスペンション システムを大幅に分解したり取り外すことなく、さまざまな運転条件やパフォーマンス要件に合わせて調整できます。

工場出荷時には、デファレンシャルは長期にわたって一貫した性能を維持するために密封されています。デファレンシャルのオイルを低粘度または高粘度のオイルに交換すると、デファレンシャルの性能特性が変わります。デファレンシャルのオイルを高粘度に交換すると、モーターのパワーが最もトラクションの少ないホイールに伝達される傾向が減ります。滑りやすい路面で急旋回をするときに、この傾向に気付くかもしれません。旋回内側の無荷重のホイールはトラクションが最も少なく、非常に高いRPM で回転する傾向があります。高粘度 (より厚い) オイルを使用すると、デファレンシャルはリミテッド スリップ デファレンシャルのように動作し、左右のホイールにより均等にパワーを配分します。Mini Maxx では一般に、トラクションの低い路面を登ったり、岩登りをしたり、レースをするときに、高粘度オイルの効果が発揮されます。

注 :重めのオイルを使用すると、タイヤが1つ以上地面から離れていても動力が伝達されます。そのため、トラクションの高い路面では車両が横転する可能性が高くなります。

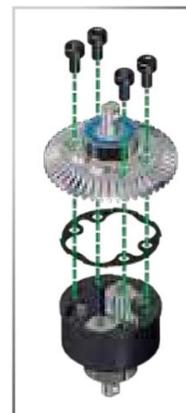
工場出荷時には、フロント ディファレンシャルにはグリースが充填されており、リア ディファレンシャルには SAE 30,000W シリコン ディファレンシャル オイルが充填されています。

デファレンシャルにはシリコンオイルのみを使用してください。TraxxasはSAE 10,000W、30,000W、50,000Wの粘度のオイルを提供しています (パーツリストをご覧ください)。

オイル交換を行うには、デファレンシャルを車両から取り外し、分解する必要があります。モデルに付属の分解図を参考に、分解・組み立て作業を行ってください。

#### デファレンシャルの補充 :

- 2.5x10mmのキャップスクリュー4本を外す  
デファレンシャルケースとリングギアを引き離します。  
デファレンシャルから滴り落ちる液体はタオルの上で拭き取ってください。
- デファレンシャルからオイルを排出します。  
これを簡単にするために、差動装置から遊星歯車を取り外す必要があるかもしれません。
- 遊星ギアをデファレンシャルケースに戻します (取り外した場合)。  
デファレンシャルケースに液体を充填し、遊星歯車が半分ほど水没しています。
- リングギアとデファレンシャルケースを再び結合します。  
ネジ穴の位置を慎重に合わせてください。ガスケットが確実に装着されていないと、デファレンシャルからオイル漏れが発生する可能性があります。
- 2.5x10mmのキャップスクリューを取り付けてしっかりと締めます。



## TQiアドバンスドチューニングガイド



## やり直し:

工場出荷時のデフォルト設定の復元

TQiトランスミッターのプログラミング中に、最初からやり直したいと感じるかもしれませんが、工場出荷時の設定に戻すには、以下の簡単な手順に従ってください。

1. 送信機の電源をオフにします。
2. MENUとSETを両方押し続けます。
3. 送信機をオンにします。
4. MENUとSETを離します。  
送信機のLEDは赤く点滅します。
5. SETを押して設定をクリアします。  
LEDが緑色に点灯し、送信機がデフォルトに復元されます。



## スロットルトリムシークモード

マルチファンクションノブをスロットルトリムに設定すると、送信機はスロットルトリムの設定を記憶します。送信機の電源がオフのとき、または送信機で他の機体を操縦しているときに、スロットルトリムノブを元の設定から動かした場合、送信機はトリムノブの実際の位置を無視します。これにより、機体が誤って暴走するのを防ぎます。送信機前面のLEDが緑色に点滅し、スロットルトリムノブ（マルチファンクションノブ）を元の設定に戻すまで、トリムは調整されません。

元の位置がメモリに保存されました。スロットルトリムコントロールを復元するには、LEDの点滅が止まるまでマルチファンクションノブをどちらかの方向に回すだけです。

Traxxas送信機には、プログラム可能なマルチファンクションノブが搭載されており、様々な高度な送信機機能を制御できます（デフォルトはTraxxas Stability Management (TSM)に設定されています。18ページをご覧ください）。プログラミングメニューにアクセスするには、送信機のメニューボタンと設定ボタンを使用し、LEDの信号を確認します。メニュー構造の説明は31ページにあります。設定や機能を試してみ、ドライビングエクスペリエンスが向上するかどうかを確認してください。

## ステアリング感度（指数）

TQi送信機のマルチファンクションノブは、ステアリング感度（指数関数とも呼ばれます）を制御するように設定できます。ステアリング感度の標準設定は「標準（指数関数ゼロ）」で、ダイヤルは移動範囲の左端まで回します。この設定では、サーボの応答は直線的になり、ステアリングサーボの動きは送信機のステアリングホイールからの入力に正確に一致します。ノブを中央から時計回りに回すと「負の指数関数」になり、ニュートラル付近ではサーボの応答性が低下し、サーボが移動範囲の限界に近づくにつれて感度が上昇します。ノブを回すほど、ステアリングサーボの動きの変化は顕著になります。

「指数関数的」という用語は、この効果に由来しています。サーボの移動量は、ステアリングホイールからの入力に対して指数関数的に変化します。指数関数的効果はパーセンテージで示され、パーセンテージが大きいほど効果が大きくなります。下の図は、この仕組みを示しています。

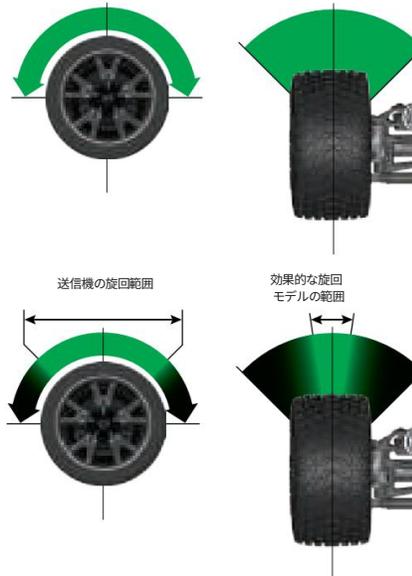
通常のステアリング感度（0%指数）:

この図では、ステアリングサーボの移動（およびそれに伴うモデルの前輪のステアリング動作）がステアリングホイールと正確に対応しています。

範囲は説明のために誇張されています。

ステアリング感度の低下（負の指数関数）:

マルチファンクションノブを時計回りに回すと、モデルのステアリング感度が低下します。ステアリングホイールのトラベル量が比較的大きい場合、サーボのトラベル量は小さくなることに注意してください。ノブを大きく回すほど、効果は顕著になります。ステアリング感度の低下は、低トラクション路面、高速走行時、または緩やかなステアリング操作が求められる急カーブの多いコースを走行する際に効果的です。範囲は説明のために誇張して表示されています。



スロットル感度（スロットル指数）

マルチファンクションノブを設定してスロットル感度を制御できます。

スロットル感度はステアリング感度と同じように機能しますが、スロットルチャンネルに効果を適用します。スロットル前進のみに影響し、ブレーキ/後進はスロットル感度の設定に関わらず直線的に変化します。

ステアリングパーセンテージ（デュアルレート）

マルチファンクションノブを設定すると、ステアリングに適用するサーボの移動量（パーセンテージ）を制御できます。マルチファンクションノブを時計回りに完全に回すと、ステアリングのストロークが最大になり、ノブを反時計回りに回すとステアリングのストロークが減少します（注: ダイヤルを反時計回りに止まるまで回すと、サーボの移動がすべてなくなります）。ステアリングのエンドポイント設定によって、サーボの最大ステアリングストロークが定義されることに注意してください。ステアリングパーセンテージを100%に設定すると（マルチファンクションノブを時計回りに完全に回して）、サーボは選択したエンドポイントまで移動しますが、それを超えることはありません。多くのレーサーは、トラックの最も急なカーブに必要なだけのステアリングストロークになるようにデュアルレートを設定し、残りのコース全体でモデルをより簡単に運転できるようにします。ステアリングストロークを減らすことは、高トラクションの表面でモデルを制御しやすくしたり、大きなステアリング移動が必要なオールパルレースでステアリング出力を制限したりする場合にも役立ちます。

ブレーキ率

マルチファンクションノブは、ニトロエンジン搭載モデルにおいて、サーボによるブレーキストローク量を制御するためにも使用できます。電動モデルにはサーボブレーキは搭載されていませんが、ブレーキングパーセンテージ機能は電動モデルでも同様に機能します。マルチファンクションノブを時計回りいっぱい回すとブレーキストロークが最大になり、反時計回りに回すとブレーキストロークが短くなります（注: ダイヤルを反時計回りに止まるまで回すと、ブレーキが全く効かなくなります）。

スロットルトリム

マルチファンクションノブをスロットルトリムとして設定すると、スロットルのニュートラル位置を調整して、送信機のトリガーがニュートラル位置にあるときに不要なブレーキ抵抗やスロットル操作を防ぐことができます。注: 送信機には、スロットルトリムシークモードが搭載されており、予期せぬ暴走を防止できます。詳しくはサイドバーをご覧ください。

## ステアリングとスロットルのエンドポイント

TQi トランスミッターを使用すると、左右の移動 (ステアリング チャンネル) とスロットル/ブレーキの移動 (スロットル チャンネル) に対してサーボの移動範囲の制限 (またはその「終点」) を個別に選択できます。

これにより、サーボの設定を微調整し、ステアリングまたはスロットルリンケージ (ニトロモデルの場合) が機械的限界を超えて動かされることで発生する拘束を防ぐことができます。選択したエンドポイント調整設定は、サーボの最大移動量を表します。ステアリングパーセンテージ機能やブレーキパーセンテージ機能は、エンドポイント設定を上書きしません。

## ステアリングとスロットルのサブトリム

サブトリム機能は、トリムノブを「ゼロ」に設定してもサーボが完全にセンターに揃わない場合に、ステアリングサーボまたはスロットルサーボのニュートラルポイントを正確に設定するために使用します。サブトリムを選択すると、サーボ出力軸の位置をより微調整して、ニュートラルポイントを正確に設定できます。サブトリムを使用して最終調整 (必要な場合) を行う前に、必ずステアリングトリムノブをゼロに設定してください。スロットルトリムを以前に調整したことがある場合は、サブトリムを使用して最終調整を行う前に、スロットルトリムを「ゼロ」に再プログラムする必要があります。

## 送信機のLEDコード

LEDカラー/パターン	名前	注記
 緑色	通常運転モード	送信機のコントロールの使用法については、16 ページを参照してください。
 ゆっくりした赤 (0.5秒点灯/0.5秒消灯)	バイディング	バイディングの詳細については、17 ページを参照してください。
 緑色の高速点滅 (0.1秒点灯/0.15秒消灯)	スロットルトリムシークモード	LEDの点滅が止まるまで、マルチファンクションノブを右または左に回します。詳細については28ページをご覧ください。
 中程度の赤色の点滅 (0.25秒点灯/0.25秒消灯)	低電池アラーム	送信機に新しい電池を入れてください。詳しくは13ページをご覧ください。
 赤色の高速点滅 (0.125秒点灯/0.125秒消灯)	リンク障害/エラー	送信機と受信機の接続が解除されました。システムの電源をオフにしてからオンにすると、通常の動作に戻ります。リンク障害の原因 (圏外、電池残量不足、アンテナの損傷など) を特定してください。
プログラミングパターン		
 数字 (緑または赤) を数えて一時停止します	現在のメニュー位置	詳細については、メニュー ツリーを参照してください。
 8倍	ファストグリーン8回	メニュー設定が承認されました (SETで)
 8倍	ファストレッド8回	メニュー設定が無効です
		ロックされたモデルを削除しようとしたなどのユーザー エラー。

## 受信機のLEDコード

LEDカラー/パターン	名前	注記
 緑色	通常運転モード	送信機のコントロールの使用法については、16 ページを参照してください。
 ゆっくりした赤 (0.5秒点灯/0.5秒消灯)	バイディング	バイディングの詳細については、17 ページを参照してください。
 赤色の高速点滅 (0.125秒点灯/0.125秒消灯)	フェイルセーフ/低電圧検出	受信機内の低電圧が一定に続くフェイルセーフが作動し、完全に電力が失われる前にスロットルサーボを中央に配置するのに十分な電力が確保されます。

## 設定ロック

これらすべての設定を好みに合わせて調整したら、マルチファンクションノブを無効にして、設定の変更を一切行えないようにすることができます。これは、Traxxas Link™モデルメモリを介して1台の送信機で複数の車両を操作する場合に特に便利です。

## 複数の設定と多機能ノブ

マルチファンクションノブで行った設定は、互いに「重ねて」適用されることにご注意ください。例えば、マルチファンクションノブをステアリングパーセンテージ調整に割り当て、50%に設定した後、ノブをステアリングセンシティビティの制御に再割り当てすると、送信機はステアリングパーセンテージ設定を「記憶」します。ステアリングセンシティビティの調整は、以前に選択した50%のステアリングストローク設定に適用されます。同様に、マルチファンクションノブを「無効」に設定すると、ノブによるそれ以上の調整はできなくなりますが、マルチファンクションノブの最後の設定は引き続き適用されます。



## フェイルセーフ

Traxxas無線システムには、スロットルを復帰させるフェイルセーフ機能が内蔵されています。

信号が途絶えた場合には、最後に保存したニュートラル位置に戻ります。送信機と受信機のLEDが点灯します。

赤色で急速に点滅します。

### TRAXXAS LINK モデルメモリ

Traxxas Link モデルメモリは、TQi送信機独自の特許出願中の機能です。送信機が新しい受信機にバインドされるたびに、その受信機と、その受信機に割り当てられたすべての設定が送信機のメモリに保存されます。送信機とバインドされた受信機の電源を入れると、送信機は自動的にその受信機の設定を呼び出します。モデルメモリのエントリーリストから車両を手動で選択する必要はありません。

#### モデルロック

Traxxas Link モデルメモリ機能は、最大30台のモデル（受信機）をメモリに保存できます。31台目の受信機をバインドすると、Traxxas Link モデルメモリはメモリから「最も古い」受信機を削除します（つまり、最も以前に使用したモデルが削除されます）。

モデルロックを有効にすると、受信機がメモリにロックされ、削除できなくなります。

複数のTQi送信機を同じモデルにバインドすることもできます。これにより、コレクション内の任意の送信機と、既にバインド済みのモデルを選べば、電源を入れるだけで走行が可能になります。Traxxas Linkモデルメモリがあれば、どの送信機がどのモデルに対応しているかを覚えておく必要はなく、モデルメモリのエントリーリストからモデルを選択する必要もありません。送信機と受信機がすべて自動的に処理します。

モデルロックを有効にするには:

1. ロックしたい送信機と受信機の電源を入れます。
2. MENUボタンを長押しします。ステータスLEDが緑色に点滅したらボタンを離します。
3. MENUボタンを3回押しします。ステータスLEDが緑色に4回点滅を繰り返します。

4. SETを押します。ステータスLEDが緑色に1回ずつ点滅します。
5. SETを1回押しします。ステータスLEDが赤色で1回ずつ点滅します。
6. MENUボタンを1回押しします。ステータスLEDが赤色で2回点滅を繰り返します。
7. SETを押します。LEDが緑色に点滅し、メモリがロックされます。

運転モードに戻るには、MENU を長押しします。

注：メモリのロックを解除するには、手順5でSETボタンを2回押しします。モデルのロックが解除されると、LEDが緑色に点滅します。すべてのモデルのロックを解除するには、手順6でMENUボタンを2回押し、その後SETボタンを押します。

モデルを削除するには:

ある時点で、もう運転しないモデルをメモリから削除したい場合があります。

1. 削除したい送信機と受信機の電源を入れます。
2. MENUボタンを長押しします。ステータスLEDが緑色に点滅したらボタンを離します。
3. MENUボタンを3回押しします。ステータスLEDが緑色に4回点滅を繰り返します。
4. SETを1回押しします。ステータスLEDが緑色に1回ずつ点滅します。
5. MENUボタンを1回押しします。ステータスLEDが緑色に2回点滅を繰り返します。
6. SETボタンを押します。これで削除するメモリが選択されました。SETボタンを押すとモデルが削除されます。MENUボタンを長押しすると運転モードに戻ります。

### メニューツリー

以下のメニュー ツリーは、TQi トランスミッターのさまざまな設定と機能をナビゲートする方法を示しています。MENU キーを長押ししてメニュー ツリーに入り、次のコマンドを使用してメニュー内を移動し、オプションを選択します。

メニュー:メニューに入ると、常に一番上から表示されます。メニューツリーを下に移動するには、MENU キーを押します。ツリーの一番下まで到達したら、もう一度 MENU を押すと一番上に戻ります。

SET: SETを押すとメニューツリーを移動して選択できます。オプション。オプションが送信機のメモリにコミットされると、ステータス LED が緑色に点滅します。

戻る: MENUとSETを同時に押すと1つ前のレベルに戻ります。メニューツリー。

終了:プログラミングを終了するには、[MENU] を長押しします。選択したオプションは保存されます。

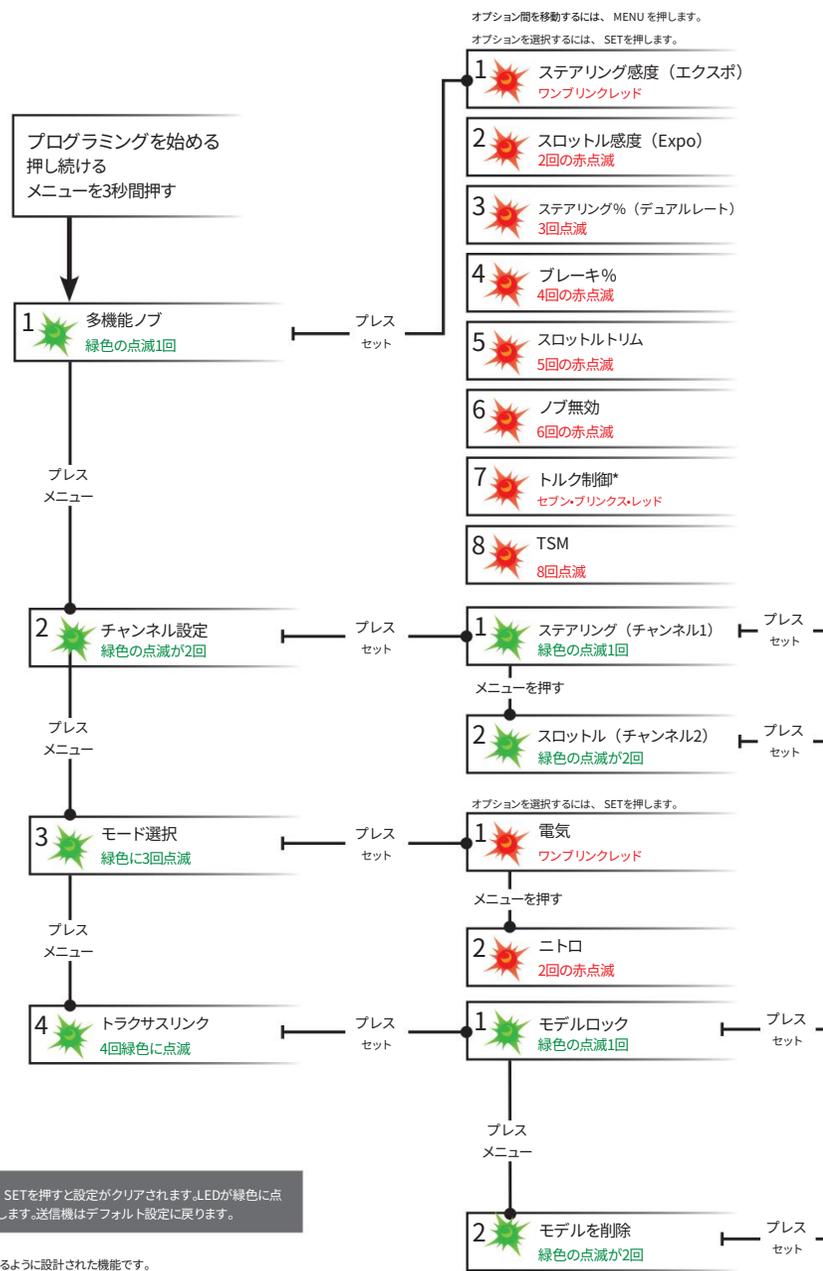
ECHO: SETを長押しすると「エコー」機能が有効になります。Echoは、メニューツリー上の現在位置を「再生」します。例えば、現在位置がステアリングチャンネルのエンドポイントの場合、SETキーを長押しするとLEDが緑色に2回点滅し、その後緑色に1回点滅し、赤色に3回点滅します。Echoは調整内容を変更したり、プログラミングシーケンス内の位置を変更したりすることはありません。

以下は、メニューツリー内の機能にアクセスする方法の例です。この例では、マルチファンクションノブをステアリング% (デュアルレート)コントロールに設定しています。

1. 送信機をオンにします。
2. 緑のLEDが点灯するまでMENUを押し続けます。1回点滅します。間隔。
3. SETを押します。赤いLEDが一定間隔で点滅し、ステアリングの状態を示します。感度 (露出)が選択されました。
4. MENUボタンを2回押します。赤色LEDが3回点滅し、ステアリング% (デュアルレート)が選択されていることを示します。
5. SETを押して選択します。緑色のLEDが8回高速点滅し、選択が完了したことを示します。
6. MENUを長押しして運転モードに戻ります。

#### 工場出荷時のデフォルト設定の復元:

送信機 オフ	両方持つ メニューと設定	送信機 の上	MENUを離すとSETの赤いLED が点滅します	SETを押すと設定がクリアされます。LEDが緑色に点 灯します。送信機はデフォルト設定に戻ります。
-----------	-----------------	-----------	-----------------------------	--



オプション間を移動するには、MENUを押します。  
オプションを選択するには、SETを押します。

1. ステアリング感度 (エクスポ) ワンプリングレッド
2. スロットル感度 (Expo) 2回の赤点滅
3. ステアリング% (デュアルレート) 3回点滅
4. ブレーキ% 4回の赤点滅
5. スロットルトリム 5回の赤点滅
6. ノブ無効 6回の赤点滅
7. トルク制御\* セパンプリングスレッド
8. TSM 8回点滅

1. ステアリング (チャンネル1) 緑色の点滅1回
2. スロットル (チャンネル2) 緑色の点滅が2回

1. 電気 ワンプリングレッド
2. ニトロ 2回の赤点滅

1. モデルロック 緑色の点滅1回
2. モデルを削除 緑色の点滅が2回

注: プログラミング中は送信機が「ライブ」状態になるため、メニュー ツリーを終了せずに設定をリアルタイムでテストできます。

オプション間を移動するには、MENUを押します。  
オプションを選択するには、SETを押します。

1. サーボリバース ワンプリングレッド
2. サブトリム 2回の赤点滅
3. エンドポイント 3回点滅
4. エンドポイントをリセット 4回の赤点滅

1. サーボリバース ワンプリングレッド
2. サブトリム 2回の赤点滅
3. エンドポイント 3回点滅
4. エンドポイントをリセット 4回の赤点滅

1. ロック解除 ワンプリングレッド
2. ロック 2回の赤点滅
3. すべてロック解除 3回点滅
1. 削除を確認 ワンプリングレッド

\*トルク コントロールは、Traxxas Funny Car Race Replica (モデル番号 6907) のパワー システムでのみ使用するように設計された機能です。

TQiアドバンスドチューニングガイド

ステアリングのマルチファンクションノブを設定する センシティビティ (博覧会)	MENUを押し続けると緑のLEDが点滅します	SETを押すと赤いLEDが点滅します	8倍 SETを押して緑色のLEDが点滅することを確認します (×8)	MENUを長押しすると運転モードに戻ります					
マルチファンクションノブをスロットルに設定する センシティビティ (博覧会)	MENUを押し続けると緑のLEDが点滅します	SETを押すと赤いLEDが点滅します	2倍 MENUを押して赤いLEDの点滅を確認します (2回)	8倍 SETを押して緑色のLED点滅 (×8)を選択します	MENUを長押しすると運転モードに戻ります				
ステアリングのマルチファンクションノブを設定する デュアルレート (%)	MENUを押し続けると緑のLEDが点滅します	SETを押すと赤いLEDが点滅	3倍 メニューを2回押すと赤いLEDが点滅 (3回)	8倍 SETを押して選択する緑色のLEDが点滅 (×8)	MENUを長押しすると運転モードに戻ります				
マルチファンクションノブをブレーキに設定する パーセンテージ (%)	MENUを押し続けると緑のLEDが点滅します	SETを押すと赤いLEDが点滅	4倍 MENUを3回押すと赤いLEDが点滅します (4回)	8倍 SETを押して緑色のLED点滅 (×8)を選択します	MENUを長押しすると運転モードに戻ります				
マルチファンクションノブを設定する スロットルトリム	MENUを押し続けると緑のLEDが点滅します	SETを押すと赤いLEDが点滅します	5倍 MENUを4回押すと赤いLEDが点滅します (×5)	8倍 SETを押して緑色のLED点滅 (×8)を選択します	MENUを長押しすると運転モードに戻ります	LEDが緑色に点灯するまで、マルチファンクションノブを調整します。			
ロックするには 多機能ノブを押続けるとMENUの緑のLEDが点滅します	MENUを押し続けると緑のLEDが点滅します	SETを押すと赤いLEDが点滅	6個 MENUを5回押すと赤いLEDが点滅します (6回)	8倍 SETを押すと緑のLED点滅がロックされます (×8)	MENUを長押しすると運転モードに戻ります				
方向を逆転させるには ステアリングサーボ	MENUを押し続けると緑のLEDが点滅します	2倍 メニューを押すと緑色のLEDが点滅 (2回)	SETを押すと緑色のLEDが点滅します	SETを押すと赤いLEDが点滅します	8倍 SETを押すとサーボの方向が反転します	MENUを長押しすると運転モードに戻ります			
ステアリングのサブトリムを設定するには サーボ	MENUを押し続けると緑のLEDが点滅します	2倍 メニューを押すと緑色のLEDが点滅 (2回)	SETを押すと緑色のLEDが点滅します	SETを押すと赤いLEDが点滅します	2倍 MENUを押すと赤いLEDが点滅 (2回)	8倍 MENUを押して位置を保存します	MENUを長押しすると運転モードに戻ります		
ENDを設定するには ポイント ステアリングサーボ	MENUを押し続けると緑のLEDが点滅します	2倍 メニューを押すと緑色のLEDが点滅 (2回)	SETを押すと緑色のLEDが点滅	SETを押すと赤いLEDが点滅	3倍 メニューを2回押すと赤いLEDが点滅 (3回)	8倍 ステアリングホイールを希望する最大左右移動まで回します SETを押すと各ポジションを保存する	MENUを長押しすると運転モードに戻ります	IFエンドポイント 大丈夫です; MENUを長押しすると運転モードに戻ります	IFエンドポイント 必要な 変更; SETを押すと手順6~8を繰り返します
ENDをリセットするには ステアリングサーボのポイント をデフォルトに戻す	MENUを押し続けると緑のLEDが点滅します	2倍 メニューを押すと緑色のLEDが点滅 (2回)	SETを押すと緑色のLEDが点滅	SETを押すと赤いLEDが点滅	4倍 メニューを3回押すと赤いLEDが点滅 (4回)	8倍 SETを押すとエンドポイントをリセットする	MENUを長押しすると運転モードに戻ります		
方向を逆転させるには スロットルサーボ	MENUを押し続けると緑のLEDが点滅します	2倍 メニューを押すと緑色のLEDが点滅 (2回)	SETを押すと緑色のLEDが点滅します	2倍 メニューを押すと緑色のLEDが点滅 (2回)	SETを押すと赤いLEDが点滅します	8倍 SETを押すとサーボの方向が反転します	MENUを長押しすると運転モードに戻ります		
スロットルのサブトリムを設定するには サーボ	MENUを押し続けると緑のLEDが点滅します	2倍 メニューを押すと緑色のLEDが点滅 (2回)	SETを押すと緑色のLEDが点滅します	2倍 メニューを押すと緑色のLEDが点滅 (2回)	SETを押すと赤いLEDが点滅	2倍 MENUを押すと赤いLEDが点滅 (2回)	8倍 マルチファンクションノブを使用してニュートラルを設定します SETを押して位置を保存します	MENUを長押しすると運転モードに戻ります	
ENDを設定するには ポイント スロットルサーボ	MENUを押し続けると緑のLEDが点滅します	2倍 MENUを押すと緑色のLEDが点滅 (2回)	SETを押すと緑色のLEDが点滅します	2倍 MENUを押すと緑色のLEDが点滅 (2回)	SETを押すと赤いLEDが点滅します	3倍 MENUを2回押すと赤いLEDが点滅 (3回)	スロットルトリガーを使用して、希望の最大スロットルまたはブレーキを設定します MENUを長押しすると運転モードに戻ります	IFエンドポイント 大丈夫です; MENUを長押しすると運転モードに戻ります	IFエンドポイント 必要な 変更; SETを押して手順7~8を繰り返します
ENDをリセットするには スロットルサーボのポイント をデフォルトに戻す	MENUを押し続けると緑のLEDが点滅します	2倍 MENUを押すと緑色のLEDが点滅 (2回)	SETを押すと緑色のLEDが点滅します	2倍 メニューを押すと緑色のLEDが点滅 (2回)	SETを押すと赤いLEDが点滅します	4倍 MENUを3回押すと赤いLEDが点滅 (4回)	8倍 SETを押すと緑色のLEDが点滅 (×8)	MENUを長押しすると運転モードに戻ります	

**メニューツリー式**

メニュー ツリーを参照せずに機能を選択し、TQi トランスミッターを調整するには、トランスミッターをオンにし、調整する機能を左側の列で見つけて、対応する手順に従います。

常に  
まず送信機をオンにします。

## TQiトランスミッターのプログラミング

Apple iPhone,iPad,Android  
モバイルデバイス

Traxxas Link™ワイヤレスモジュール

(部品番号6511,別売)TQiトランスミッターは数分でインストールでき、

Apple® iPhone®,iPad®,またはAndroid™デバイスを強力なチューニングツールに変え、送信機のボタン/LED プログラミング システムを直感的で高解像度のフルカラー グラフィカル ユーザー インターフェイスに置き換えることができます。



## トラクサスリンク

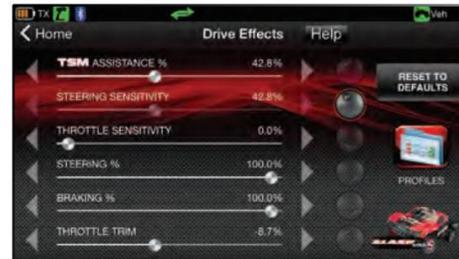
強力なTraxxas Linkアプリ (Apple App StoreまたはGoogle Play™で入手可能)を使えば、Traxxasモデルの操作とチューニングを、驚異的なビジュアルと絶対的な精度で完全にコントロールできます。Traxxas Linkテレメトリーセンサーをモデルに取り付けると、速度、回転数、温度、バッテリー電圧などのリアルタイムデータが表示されます。



互換性あり:  
iPhone (4S以降)  
iPad (第3世代以降)  
iPadミニ  
Android (4.4以降)

直感的なiPhone,iPad,Androidインターフェイス

Traxxas Linkを使えば、強力なチューニングオプションを簡単に習得、理解し、アクセスできます。TSMアシスタンス率、ステアリングとスロットルの感度、ステアリング率、ブレーキ力、スロットルトリムといったドライブエフェクトの設定は、画面上のスライダーをタッチしてドラッグするだけで操作できます。



タップしてスライドすると、TSM、ステアリング感度、スロットルトリム、ブレーキ率などを調整できます。

リアルタイムテレメトリー

モデルにセンサーを装着すると、Traxxas Linkダッシュボードが起動し、速度、バッテリー電圧、回転数、温度などを表示します。しきい値警告の設定や、最大値、最小値、平均値の記録も可能です。録画機能を使えば、ダッシュボードの表示内容を音声付きで記録できるので、運転に集中でき、アバックスを一つも見逃すことはありません。



カスタマイズ可能なTraxxas Linkダッシュボードは、リアルタイムのrpm,速度,温度,電圧データを提供します。

Traxxas Linkで最大30のモデルを管理  
TQi無線システムは、接続された車両を自動的に追跡します。

それぞれにどのような設定が使用されたかなど、合計で最大30個のモデルが存在します。Traxxas Linkは、モデルに名前を付けたり、設定をカスタマイズしたり、プロファイルを関連付けたり、メモリにロックしたりするためのビジュアルインターフェイスを提供します。モデルと、事前にバインドした送信機を選択し、電源を入れるだけで、すぐに楽しむことができます。



Traxxas Link モデル メモリを使用すると、車両コレクションの整理が簡単になります。



## トラクサスリンク

ワイヤレス モジュールは別売りです (部品番号 6511)。Traxxas Link アプリケーションは、iPhone,iPad,iPod touch の場合は Apple App Store から、Android デバイスの場合は Google Play から入手できます。iPhone,iPad,iPod touch、または Android デバイスは、Traxxas Link ワイヤレス モジュールには付属していません。

Traxxas Link ワイヤレス モジュールと Traxxas Link アプリケーションの詳細については、Traxxas.com をご覧ください。





取扱説明書

**TRAXXAS**

6250 TRAXXAS WAY、マッキニー、テキサス州 75070  
1-888-トラクサス